われわれは、一九九九年までに文学部所蔵文書の整理を続けてきたが、このようにも続く整理事業の一部として、調査を終了した八つの史料群について、目録を公表する運びとなった。今回目録に取収したのは、東京大学文学部所蔵文書目録（二）に記載に対応している。

『東京大学文学部所蔵文書目録（二）』は、佐藤信氏を代表者とする研究会『古代文学文書研究会』により行われた。この研究会は、古文書の保存・整理を目的としており、今回の調査により、多くの史料が発見された。これにより、文学史の研究が大きく進歩した。

また、この研究会は、電子データベースの構築も行っている。これにより、研究者は、文書の情報をより効率的に利用できるようになっている。
順次説明する。

第一章巻（一）末尾に奈良、平安時代の正倉院文書、東大寺文書、東寺文書等の影本で、刊本の校訂に役立つものもある。七号は九条道家と主催の和歌会の詩歌。

第二章巻（一）号は江有叢の漢籍写本や、神護寺文書、二号は延慶寺の文書。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第三章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第四章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第五章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第六章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第七章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第八章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第九章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十一章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十二章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十三章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十四章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十五章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十六章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十七章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十八章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第十九章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第二十章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。

第二十一章巻（一）号は延慶寺の本尊大師所頒の文書をつけて、山門と東大寺、醍醐寺で覚される縁起状、状。三号は法華寺縁起写、旧目録（一）法華寺縁起に相当するものと思われる。
2. 古代中世におけることは多い。

結城白川の家を手に入れた多くの人たちは、天長年間に佐竹氏から家を受け継いだ義広の
手に入れた。彼は、白川家の再興により義広から義親に返され、
義親の伊達家臣として登りつめた仙台に移った。これが「仙台白川文
書」として、仙台の関東大名という所領に於いて、白川家を

その後、義広は義親の子義穂の手に行き、義親の子の為に、家を

以降、酒によって各所に分散した。

東国の政治史上重要な史料が多い。書状たるもほとんど無年号で、年

代推定が課題となるが、本目録では「白川市書」による比定を「和

暦」欄に記し、「年代」欄では年未詳として扱った。

応仁以前のものが『三通』ほどもある。三通以前の文書よりも遡って文

学部に入ったらしいからである。内容的には課状状、軍状状、が見られ

る。白川文書本体とは趣を異にする。残り半分は、文和二年の尊氏消息を

目立つ南北朝時代における白川氏発掘文書は、通路でも見られない。

『白川文書』は文和二年に白川氏の発掘文書を集成したものである。白川

氏の史料紹介も刻刻を刻文。

『白川文書』は白川氏の発掘文書を集成したものである。白川氏の史料紹介

も刻刻を刻文。

これらはおそらく戦後文学部の所蔵となったもので、旧目録には記

載されていないが、なお文書らしさとなってよい中世文書が六通ある。

（2）方書

『大田庄関係文書』

これらはおそらく戦後文学部の所蔵となったもので、旧目録には記

載されていないが、なお文書らしさとなってよい中世文書が六通ある。

（2）方書

『大田庄関係文書』

これらの史料紹介も刻刻を刻文。

これらはおそらく戦後文学部の所蔵となったもので、旧目録には記

載されていないが、なお文書らしさとなってよい中世文書が六通ある。

（2）方書

『大田庄関係文書』

これらの史料紹介も刻刻を刻文。

これらはおそらく戦後文学部の所蔵となったもので、旧目録には記

載されていないが、なお文書らしさとなってよい中世文書が六通ある。
高野山上の僧侶組織に関する文書も認められる。

『南都篇』の高野山に関する文書が特に重要であると考えられる。特に、南都篇を主な内容とする文書に対する注目が高まっている。

これらの文書の中には、南都篇の内容を詳細に説明するものが多く含まれており、特に、南都篇の成立過程に関する記述が豊富である。

また、これらの方針に関する文書も見つかり、南都篇の実行方針に関する議論が行われていたことが示されている。

これらの方針に関する文書は、南都篇の実行方針に関する議論が行われていたことが示されている。

この結果、南都篇の実行方針に関する議論が行われていたことが示されている。
忠節之由、被仰出鏡、恐々

四月四日

石川一族御中

勝元（花押）

*「日光市史」は本文書と同じで発所が「白川修治大夫殿」となっている文書を

一四五号「室町幕府奉行人連署奉書」（写紙）

徳四五年七月五日

美濃守（花押）

石川一族中

*今谷明：高倉庫夫編『室町幕府文書集成』上巻（思想與出版、一九八六年）は

本文書を「古文書樹」下下から取録している（三三七号）。
【凡例】

(1) 「文書番号」のハイフンで結ばれた数字は、四つの階層を表し、左から順に「史料群番号—括番号—個別文書番号—枝番号」である。括分けのない史料群の括番号はすべて「1」とした。一つの個別文書番号のもとに文書が1通しかない場合、枝番号は無記入とし、三階層の記述にとどめた。枝番号を一覧にしたデータを記載する場合は、枝番号「0」のレコードを立て、法量・紙数や全体にかかわる追筆はここに記した（例、06-1-3-0）が、そのようなデータがなくない場合は、枝番号「0」のレコードを立てなかった。紙背文書については枝番号を「紙背」とし、複数ある場合は「紙背1」「紙背2」・・・とした。

(2) 「年代」はすべて10桁のアラビア数字で表示した。西暦4桁、月3桁、日3桁である。10世紀以前の西暦は1桁目に0を入れた。月の3桁目は普通月0、閏月1とした（例、閏八月の場合は081）。日の3桁目も通常0とし、上旬・中旬・下旬とある場合に1が入る（上旬は101、中旬は201、下旬は301）。年未詳は9999、月未詳・日未詳はともに999で表示した。たとえば、文安元年閏六月三日は「1440061030」、年未詳二月は「9999020999」となる。

(3) 「法量・紙数」は料紙1枚ごとに縦・横の長さをセンチメートルで表示した（例、3：30.7×43.9は、第3紙の縦が30.7cm、横が43.9cmの意）。枝番号「0」のレコードが立っている場合はここに記し、枝番号「1」以下では省略した。1枚の料紙に複数の文書がある場合は、備考にその旨を記し、各枝番号に同じ数値を記載した。料紙の表裏に各1通の文書がある場合、紙背については無記載とした。

(4) 「刊本」は原則として主なもの1点のみを記した。調査が完全に行き届いているわけではないので、無記載がすなわち刊本のないことを意味するわけではない。また、同一文書を文学部所蔵文書以外のテキストから採った刊本を表示した場合がある。
<table>
<thead>
<tr>
<th>法量・紙数</th>
<th>形態</th>
<th>追筆</th>
<th>刊本</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1:28.9×51.5 2:29.0×34.3</td>
<td>絹紙</td>
<td>種類書：康和三年八十五（朱筆）</td>
<td>「平安道文」1444号</td>
<td>虫損みられる</td>
</tr>
<tr>
<td>1:30.4×54.0 2:30.5×53.8</td>
<td>絹紙</td>
<td>種類書：天永三年（朱筆）、</td>
<td>「平安道文」1771号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>琉皇寺文書 仏具 舍利</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:30.7×51.0 2:30.7×51.2 3:30.7×51.4 4:30.7×51.8 5:30.7×51.4 6:30.7×51.0</td>
<td>種類書</td>
<td>二間申状</td>
<td>「宮崎県史」史料編</td>
<td>日向国浄田荘</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>中世2-p639</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>竪紙</td>
<td>朱筆：重輪旨付年号：正中二（朱筆）</td>
<td>「宮崎県史」史料編</td>
<td>字佐宮小松根</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>中世2-p639</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>竪紙</td>
<td>朱筆：御下文案</td>
<td>「宮崎県史」史料編</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>中世2-p642</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>竪紙</td>
<td>朱筆：院宜案 付年号：建暦元（朱筆）</td>
<td>「宮崎県史」史料編</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>中世2-p643</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>竪紙</td>
<td>朱筆：御下文案</td>
<td>「宮崎県史」史料編</td>
<td>年月日は06-1-3-2「副進」文書による。後欠</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>中世2-p644</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>康平8～安元2年の年号見ゆ。文書写8通を含む</td>
</tr>
</tbody>
</table>

14
### 東寺文書

<table>
<thead>
<tr>
<th>文書番号</th>
<th>文書名</th>
<th>年代</th>
<th>和暦</th>
<th>差出</th>
<th>宛所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>06・1・1</td>
<td>玖皇寺所司等解</td>
<td>1101070050</td>
<td>康和3</td>
<td>都那師法師（花押）／寺主大法師（花押）／上座大法師（花押）／権別当大法師（花押）／大別当大法師（花押）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・2</td>
<td>玖皇寺仏具等注進状</td>
<td>1112080170</td>
<td>天永3</td>
<td>都那師定禅／寺主大法師（花押）／上座大法師（花押）／権別当大法師（花押）／大別当大法師（花押）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・0</td>
<td>持明院三位入道家領字佐小松領相論重書案</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・1</td>
<td>後醍醐天皇論旨案</td>
<td>1325020270</td>
<td>正中2</td>
<td>左中将具行</td>
<td>東北院僧正御房</td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・2</td>
<td>持明院入道三位（基澄）家雑掌重申状案</td>
<td>1325020999</td>
<td>正中2</td>
<td>持明院入道三位家御領字佐宮小松領雑掌</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・3</td>
<td>摂政（九条良経）家政所下文案</td>
<td>1203110999</td>
<td>建仁3</td>
<td>別当内大輔藤原朝臣在判／前畳馬轡頭平朝臣在判／勘解由次官平朝臣在判／兵部権大輔藤原朝臣在判／前備後守藤原朝臣在判／知家事前職內錄惟宗在判／少従民部録惟宗在判／案主中原</td>
<td>字佐神官等</td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・4</td>
<td>後鳥羽上皇院宜案</td>
<td>1211080160</td>
<td>建暦元</td>
<td>蘇中納言在判／朱書：于時光親御</td>
<td>宮内権大輔殿</td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・5</td>
<td>摂定殿下（近衛基通）政所下文案</td>
<td>1210090170</td>
<td>承元4</td>
<td></td>
<td>字佐神官等</td>
</tr>
<tr>
<td>06・1・3・紙背</td>
<td>祈雨法等引付</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>54.0×34.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>鎌倉遺文：下表下 七条院廐御下文 槿牧庄貞応三年正</td>
<td>鎌倉遺文3210号</td>
<td>鎌倉遺文により大納言＝定通、越前守＝定時、左少弁＝親長</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>35.0×53.5</td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>35.0×51.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>和歌3首。余白手書あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.8×48.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>鎌倉遺文：永德三年(朱筆)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>38.5×50.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>裏打による修補あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:30.7×43.0</td>
<td>絹紙</td>
<td>鎌倉遺文：美和院兼行方御未進未注文</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:30.7×43.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:30.7×43.9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:30.7×43.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:30.7×43.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6:30.7×43.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7:30.7×43.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8:30.7×40.5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9:30.7×36.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10:30.7×43.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11:30.7×43.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12:30.7×40.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13:30.7×42.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-4</td>
<td>七条院序下文</td>
<td>1224010999</td>
<td>貞応3</td>
<td>別当関大納言関朝臣（花押）／信前守藤原朝臣（花押）／左少弁平朝臣（花押）／正兼代西市正兼関大納言関朝臣（花押）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-5</td>
<td>東寺入堂巡礼記</td>
<td>1270030050</td>
<td>文永7</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-5-紙背</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-6</td>
<td>久我前右大臣（延暦）家御教書</td>
<td>1340110070</td>
<td>穗応3</td>
<td>中務権大輔（花押）／摂印「宇宙」</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-7</td>
<td>左近將監某兵部允亮泰進署打渡状</td>
<td>1383100010</td>
<td>永徳3</td>
<td>左近将監[ ]（花押）／兵部允亮泰（花押）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-8</td>
<td>東寺返抄</td>
<td>1693090190</td>
<td>元徳6</td>
<td>別当法印関大納言関朝臣大和尚位尊徳／上座 傳燈大法師位／寺主 傳燈大法師位／都維那傳燈大法師位</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>06-1-9</td>
<td>最勝光院観周防国美和広兼行方未進年賞進状</td>
<td>1329020999</td>
<td>嘉徳4</td>
<td>公文代平政重（花押）／急公文代（花押）／上御使代土師守包（花押）／御所法橋寬成（花押）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.0×39.0</td>
<td>士紙</td>
<td>士紙絵</td>
<td>平433、『大日本古文書』編年4・p121</td>
<td>士写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.3×46.5</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>印文：朝鮮南宗、南東岡、影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.5×29.0</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>印文：東海道印、影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.3×48.0</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>印文：東海道印、影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.5×169.0</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>『平安造文』215号</td>
<td>備考は新しい。本文（昭和7年=917年）の左に延長5年10月9日</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.0×39.0</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>『平安造文』4555号</td>
<td>『平安造文』との異同多し、影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×51.8</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>『平安造文』259号</td>
<td>前面に見えない。影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×4.8</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>『平安造文』270号</td>
<td>葛下郡県、影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×8.0</td>
<td>士紙</td>
<td>伝承</td>
<td>『平安造文』205号</td>
<td>祐伊国伊都郡県、影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>--------------</td>
<td>-------</td>
<td>----------</td>
<td>---------------</td>
<td>--------------------------</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 09-01-1 | 献物換写     | 0756060210 | 天平勝宝8 | 從二位行大納言兼紫微令中衛大將近江守藤原朝臣仲麻呂／従三位行左京大夫兼侍従大僕守藤原朝臣永従／従四位上行紫微少弼兼中衛少将山背守巨藤朝臣福信／紫微大従正五位下兼行左兵衛率左右馬監賀茂朝臣角足／従五位上行紫微少弼
忠葛木連戸主 |
| 09-01-2-1| 坂田郡上坂長解写 | 0762080180 | 天平寶字6 | 郷長坂田酒人公園田校 | 少領外従八位下坂田酒人真人 |
| 09-01-2-2| 鎌師脅名写     | 9999999999 |          |               |                          |
| 09-01-2-3| 充本横写       | 9999999999 |          |               |                          |
| 09-01-2-4| 充本横写       | 9999999999 |          |               |                          |
| 09-01-2-5| 装潢紙上坂・写丁本上横写 | 9999999999 |          |               |                          |
| 09-01-3-1| 丹波国某郡長解写 | 0917040270 | 延喜17 | 郷長丹波直永古 |                          |
| 09-01-3-2| 尾張国大成庄下地中分注文資断簡 | 9999999999 |          |               |                          |
| 09-01-4| 東寺伝法書家事状写 | 0920090070 | 延喜20 | 別当兼僧／大法師／大法師／大学頭大法師／少学頭僧 | (東寺)政所       |
| 09-01-5-1| 平忠信家地売券写 | 0951050110 | 天曆5   | 專賣人石見隆正六位上平朝臣忠信 | 置佐遠乙連 |
| 09-01-5-2| 置佐遠乙連家地売券写 | 0957080150 | 天曆11 | 置佐遠乙連 | 藤原基遠 |
| 09-01-5-3| 平田福刀自子家地売文書写 | 0911030230 | 延喜11 | 平田福刀自子 | 湯岡姓高雄 |

19
<table>
<thead>
<tr>
<th>法量・紙数</th>
<th>形態</th>
<th>追筆</th>
<th>刊本</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>27.5×56.3</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×41.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:27.5×11.0 2:27.5×37.0</td>
<td>紙紙</td>
<td>『平安遺文』未収録か。影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:27.5×1.0 2:27.5×18.0</td>
<td>紙紙</td>
<td>『平安遺文』260号</td>
<td>09-01-5-5（平信家家地売券）に削除されたものの。影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×21.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>『平安遺文』261号</td>
<td>継目に印影の影写とおぼしき朱点あり。影写本は定かならず。影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.5×50.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>蛍書：胎水尾屋根頂方（朱字）</td>
<td>影写本か</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.2×40.0 2:28.5×41.0 3:28.5×40.9 4:28.5×41.0 5:28.5×40.5 6:28.5×40.4 7:28.5×39.9</td>
<td>紙紙</td>
<td>『大日本史料』4-14.p729（建保6年13）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:29.9×45.4 2:30.0×20.2 3:30.0×45.6 4:30.0×25.2 5:30.1×45.9 6:30.1×45.5 7:30.1×45.3</td>
<td>卷子</td>
<td>踏検：文章博士大江有元朝臣真書断簡、駿高神護寺旧蔵伝来</td>
<td>訓点・送り仮名・ふりがなあり。界線（塗黒）あり。横3.6×縦24.1。糊紙全てがはぎれ。脱落あるか。紙背に仮名刷字5通あり。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24.8×40.1</td>
<td>壟紙</td>
<td>蛍書： 佐打書</td>
<td>上部欠損。09-02-2-6まで貼り絹がれている。『日吉社井原山行幸記』（群書3集p484）関連記事有り。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.2×41.9 2:28.2×40.8</td>
<td>紙紙</td>
<td>蛍書：山門事記（大師号事）徳治三三</td>
<td>内容的に前号に添えられたもの</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:27.4×40.3 2:27.4×13.0</td>
<td>紙紙</td>
<td>蛍書：東大寺庭状</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.4×36.8</td>
<td>壟紙</td>
<td>蛍書：東大寺庭狀 延慶元年十一月廿四日</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.4×40.3</td>
<td>壟紙</td>
<td>蛍書：東大寺庭狀 裏打先是年慶安5年修理銘あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和番</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>----------------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-5-4</td>
<td>柱消息写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-5-5</td>
<td>柱書状书</td>
<td>9999020240</td>
<td></td>
<td>□□（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-5-6</td>
<td>僧隆□田地売券写</td>
<td>1141030190</td>
<td>保延7</td>
<td>僧（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-5-7</td>
<td>平忠信家地売券写</td>
<td>0951050110</td>
<td>天曆5</td>
<td>玉見稼平忠信</td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-5-8</td>
<td>平忠信家地売納状書</td>
<td>0951050110</td>
<td>天曆5</td>
<td>玉見稼平忠信</td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-6</td>
<td>水尾流根後方血脈写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-01-7</td>
<td>中殿御会和歌</td>
<td>1218080130</td>
<td>建保6</td>
<td>右大臣正二位藤原朝臣道家</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-1</td>
<td>大江有元朝臣筆断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-1-紙背1</td>
<td>柱消息</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-1-紙背2</td>
<td>柱消息</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-1-紙背3</td>
<td>柱消息</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-1-紙背4</td>
<td>柱消息</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-1-紙背5</td>
<td>柱消息</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-2-1</td>
<td>山門西塔院集会事書</td>
<td>1308020100</td>
<td>徳治3</td>
<td>西塔院政所</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-2-2</td>
<td>山門西塔事書</td>
<td>1308030999</td>
<td>徳治3</td>
<td>山門西塔</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-2-3</td>
<td>東大寺奏状</td>
<td>999110230</td>
<td>年間五郷宗算</td>
<td>左大弁殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-2-4</td>
<td>東大寺牒状</td>
<td>1308110240</td>
<td>延慶5</td>
<td>年間五郷宗算</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-2-5</td>
<td>東大寺牒状</td>
<td>9999120090</td>
<td>年間五郷宗算</td>
<td>御法殿時御房</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
</tr>
<tr>
<td>27.3×40.8</td>
<td>矢十</td>
<td>稲尾書：西国西送仁和寺状真打奥裏に慶安5年修理銘あり</td>
<td>【大和古寺大観】5-p84〜p85、p140〜p143</td>
<td>法華寺に原本あり。全文縦貫あり（嘉元2年10月29日元書）。一部省略、また抹消あり。最後の「天神緑色雲…」を欠く。他に、シート枠外に「追書」の書き込みがある</td>
</tr>
<tr>
<td>16紙</td>
<td>矢十</td>
<td>裏打、破損により不明（追筆）「内、於支段者林智資渡己了、南島壹段整蔵房渡了」</td>
<td>【平安近文】587号</td>
<td>裏打状態よくない。旧目録は「東大寺法隆寺」とする。平安近文の文書名は「僧朝宗田去状」</td>
</tr>
<tr>
<td>25.8×21.5</td>
<td>矢切</td>
<td>裏打書：下矢野朱箋（箋裏）：正安二年、八十六</td>
<td>【相生市史】7-p611</td>
<td>文書左下に「太政官印」あり（次号文書に続いて）。本文中「二位行権中納言藤原朝臣」とあり。東大寺に関係</td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×27.5</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td>前欠</td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×8.5</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td>前欠</td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×46.0</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td>【平安近文】4050号</td>
<td>刀絵の詳記あり</td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×41.0</td>
<td>矢十</td>
<td>稲尾書：下矢野朱箋（箋裏）：正安二年、八十六</td>
<td>【相生市史】7-p611</td>
<td>東寺文書</td>
</tr>
<tr>
<td>31.3×49.2</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td>【鉄倉近文】25431号</td>
<td>前欠</td>
</tr>
<tr>
<td>16.1×43.1</td>
<td>折下</td>
<td>稲尾書：金堂木作処録物記文保元・五・十五</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×43.5</td>
<td>矢十</td>
<td>稲尾書：助公清文（六月）</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.2×36.6</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td>前欠</td>
</tr>
<tr>
<td>31.3×49.2</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.2×38.0</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td>大破</td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×47.0</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td>水損あり</td>
</tr>
<tr>
<td>33.5×47.6</td>
<td>矢十</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:30.3×42.4</td>
<td>線下</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:30.3×31.9</td>
<td>線下</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------------------------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-2-6</td>
<td>露関寺縄状</td>
<td>9999120250</td>
<td></td>
<td>執行法眼賢延</td>
</tr>
<tr>
<td>09-02-3</td>
<td>法華[滅罪]寺縄起</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-01</td>
<td>僧朝算解</td>
<td>1041020250</td>
<td>長久2</td>
<td>僧朝算</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-02</td>
<td>太政宮縄断簡</td>
<td>1111120130</td>
<td>天永2</td>
<td>左少辨正五位下兼行木工頭頭朝臣／正六位上行右少史中原朝臣(義名)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-03</td>
<td>太政宮縄断簡</td>
<td>1112060130</td>
<td>天永3</td>
<td>防鴨河使右少辨正五位下兼行左衛門權佐周防介藤原朝臣／正六位上行右少史三普朝臣</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-04</td>
<td>藤原宗未給失状</td>
<td>1182080250</td>
<td>寿永元</td>
<td>藤原宗未</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-05</td>
<td>播磨国矢野例名領家方百姓職補任状</td>
<td>1300020999</td>
<td>正安2</td>
<td>(花押) / 花押(銘判)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-06</td>
<td>某重申状案</td>
<td>1299110260</td>
<td>正安元</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-07</td>
<td>某起請文状</td>
<td>1304070999</td>
<td>嘉元2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-08</td>
<td>東大寺衆徒起請文</td>
<td>1315020040</td>
<td>正和4</td>
<td>演義(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-09</td>
<td>金堂木作始め番匠交名</td>
<td>1317050150</td>
<td>文保元</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-10</td>
<td>玄然請文</td>
<td>1317060999</td>
<td>文保元</td>
<td>玄然</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-11</td>
<td>某解状案</td>
<td>1322040999</td>
<td>元亨2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-12</td>
<td>御厩司御教書</td>
<td>1342060200</td>
<td>康永元</td>
<td>前伊勢守兼行奉(銘判)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-13</td>
<td>僧快実寄進状</td>
<td>1363020040</td>
<td>貞治2</td>
<td>僧快実(花押) / 證人清治(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-14</td>
<td>太神宮政所下文</td>
<td>1354120030</td>
<td>文和3</td>
<td>神主(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-15</td>
<td>賀茂太神宮政所下文</td>
<td>1527020999</td>
<td>大永7</td>
<td>賀茂前神主馬場茂久(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-16</td>
<td>下年預受簡状</td>
<td>1545050999</td>
<td>天文14</td>
<td>下年預受簡</td>
</tr>
</tbody>
</table>

23
<table>
<thead>
<tr>
<th>法量・紙数</th>
<th>形態</th>
<th>追筆</th>
<th>刊本</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>26.8×32.2</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.1×41.8</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：承音房願永状永禄十一戊辰年十一月十八日</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.0×43.3</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：天文十年 鹿鳴</td>
<td>朱印五つあり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×42.6</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>41.7×56.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:27.8×29.6</td>
<td>薄紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:27.8×16.3</td>
<td>薄紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24.0×26.3</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td>後欠。端裏に方印あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×43.0</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：不動許可（三井）能真</td>
<td>第4括、すべて右上で縦じられて</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.9×53.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>補修あり</td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×44.4</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：不動灌頂密印</td>
<td></td>
<td>自署風の花押あるが写か</td>
</tr>
<tr>
<td>36.0×39.8</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：秘密灌頂入壇先相</td>
<td></td>
<td>自署風の花押あるが写か</td>
</tr>
<tr>
<td>1:30.3×37.0</td>
<td>薄紙</td>
<td></td>
<td>袖込に「海龍王寺」印あり。裏打紙</td>
<td>袖下に「海龍王寺」印あり。裏打紙</td>
</tr>
<tr>
<td>2:30.8×44.0</td>
<td>薄紙</td>
<td></td>
<td>に印あり。09-04-05-2に接続する</td>
<td>に印あり。09-04-05-2に接続するか</td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×25.5</td>
<td>坚紙</td>
<td>前欠。裏下に方印と図印あり。</td>
<td></td>
<td>09-04-05-1より接続するか</td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×38.0</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：秘密灌頂印信 潤書之</td>
<td></td>
<td>花押あり</td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×44.3</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：不動許可印「七」（押紙）</td>
<td></td>
<td>09-04-07-01-02は一紙。09-04-06と同様。花押あり</td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×44.3</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：不動許可印信（并灌頂） 潤書之</td>
<td></td>
<td>09-04-07-01-02は一紙。09-04-06と同様。花押あり</td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×24.5</td>
<td>薄紙</td>
<td>紙背に別記文の追記書あり</td>
<td>紙背に削引あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.5×44.0</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：菩提心灌頂</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.5×48.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.3×43.0</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：豊修寺（第二重） \</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.3×41.0</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：長吏相承大事</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.5×48.2</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.7×43.3</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×48.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×46.4</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.1×47.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.9×46.5</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.7×46.5</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×45.8</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>-------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-17</td>
<td>清栄聰明寺住持職授状</td>
<td>1562090160</td>
<td>永禄5</td>
<td>慶長5</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-18</td>
<td>承音房顧永起請文</td>
<td>1568110180</td>
<td>永禄11</td>
<td>鳥楽之中承音房顧永(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-19</td>
<td>鳳凰天神宮符</td>
<td>1582120180</td>
<td>天正10</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-20</td>
<td>左馬頭源元仲款状</td>
<td>1600120230</td>
<td>慶長5</td>
<td>徳川義利(黒印)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-21</td>
<td>徳川義利黒印状</td>
<td>1620090010</td>
<td>元和6</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-22</td>
<td>うを町善兵衛讃文</td>
<td>1664020160</td>
<td>寛文4</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-03-23</td>
<td>上栄村竹田村村屋連署書付</td>
<td>1675120210</td>
<td>延宝3</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-01</td>
<td>某授某印信</td>
<td>9999999999</td>
<td>建保5</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-02</td>
<td>亮範授某印信</td>
<td>1218110130</td>
<td>建保5</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-03</td>
<td>寺盛授重総印信</td>
<td>1269080180</td>
<td>寛文5</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-04</td>
<td>某授重総印信</td>
<td>1287030120</td>
<td>弘安10</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-05-1</td>
<td>盛春授親円印信</td>
<td>9999999999</td>
<td>延宝3</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-05-2</td>
<td>盛春授親円印信</td>
<td>1292010220</td>
<td>延宝3</td>
<td>延宝3</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-06</td>
<td>行鎧授湛絶印信</td>
<td>1296080120</td>
<td>永禄4</td>
<td>湛絶</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-07-1</td>
<td>行鎧授湛絶印信写</td>
<td>1296120100</td>
<td>永禄4</td>
<td>湛絶</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-07-2</td>
<td>行鎧授湛絶印信写</td>
<td>1296120100</td>
<td>永禄4</td>
<td>湛絶</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-08</td>
<td>専信覚書</td>
<td>1315040030</td>
<td>正和4</td>
<td>専信</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-09</td>
<td>集授集印写</td>
<td>1319100250</td>
<td>元応円</td>
<td>元応円</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-10</td>
<td>寛惠授顧重印信</td>
<td>1329010170</td>
<td>嘉慶4</td>
<td>寛惠(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-11</td>
<td>血脈相承開</td>
<td>1309060070</td>
<td>正安2</td>
<td>深照(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-12</td>
<td>深照授顧重印信</td>
<td>1309060080</td>
<td>正安2</td>
<td>深照(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-13</td>
<td>道果授某印信</td>
<td>1365100300</td>
<td>頭地4</td>
<td>道果(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-14</td>
<td>道果授宗樹印信</td>
<td>1368040060</td>
<td>応安元</td>
<td>道果(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-15</td>
<td>道果授弁英印信</td>
<td>1371030290</td>
<td>応安4</td>
<td>道果</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-16</td>
<td>印実授定基印信</td>
<td>1388030270</td>
<td>嘉慶2</td>
<td>印実</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-17</td>
<td>印実授定基印信</td>
<td>1403040230</td>
<td>応永10</td>
<td>聖徳</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-18</td>
<td>聖徳授定基印信</td>
<td>1406090250</td>
<td>応永13</td>
<td>聖徳</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-19</td>
<td>聖徳授定基印信</td>
<td>1406090270</td>
<td>応永13</td>
<td>聖徳</td>
</tr>
<tr>
<td>09-04-20</td>
<td>聖徳授真慶印信</td>
<td>1423110270</td>
<td>応永30</td>
<td>聖徳</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>適筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>33.1×48.2</td>
<td>売紙</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td>09-05-1・1・2は一紙</td>
</tr>
<tr>
<td>33.1×48.2</td>
<td>売紙</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td>09-05-1・1・2は一紙</td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×39.0</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.2×38.7</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>合点あり。「奉」字あり</td>
</tr>
<tr>
<td>35.3×47.6</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>「奉」字あり</td>
</tr>
<tr>
<td>18.4×50.0</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:16.5×45.6</td>
<td>絹紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>1紙目裏に付箆1枚あり（「十八号」）。後世のものと思われる</td>
</tr>
<tr>
<td>2:16.6×45.3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:16.7×46.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:16.8×46.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:16.8×45.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6:16.8×45.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7:16.8×45.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8:16.6×45.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.3×38.2</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>前欠</td>
</tr>
<tr>
<td>1:32.6×54.4</td>
<td>絹紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>界線あり</td>
</tr>
<tr>
<td>2:32.6×54.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:32.6×54.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:13.5×20.5</td>
<td>絹紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>近代のこよりで括る。紙背に書状あるも判読不能</td>
</tr>
<tr>
<td>2:13.3×34.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:12.9×35.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:12.9×28.3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:12.7×41.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25.7×50.2</td>
<td>売紙</td>
<td>建下書：梵健会田券案文真密[外題：件田地直米如数請納逐本書：但金箋山雖有七升米、井三升[ ]付可為次於事已了、於七升米者、新券文□状如件、畳内在内判</td>
<td>【平安文文】5815号</td>
<td>売主・賃主・証人が連署している。東大寺文書か</td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×40.5</td>
<td>売紙</td>
<td>建下書（朱筆）：『寛元四年八月晦日』アミタキノツシ裏書：勝倉検銘</td>
<td>【建倉文文】6731号</td>
<td>継目裏花押の残欠あり</td>
</tr>
<tr>
<td>30.7×44.5</td>
<td>売紙</td>
<td>建下書：譜与 建武二年裏書：四段内一反おび丘尼妙光仁謹貯帳文、良政元年二月五日（花押）</td>
<td>【長福寺文書の研究】228号、『大日本史料』6・2・p904</td>
<td>梅津沢関係。長福寺文書</td>
</tr>
<tr>
<td>29.7×39.7</td>
<td>売紙</td>
<td>建下書：上野検証状 眞証大師</td>
<td></td>
<td>山城国葛野郡上野庄。裏打がはがれかけていて。東大寺文書</td>
</tr>
<tr>
<td>40.5×28.0</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>字屜洞南藤木之下地</td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>動出</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>-------------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-1-1</td>
<td>諏訪文書</td>
<td>1326120190</td>
<td>嘉永元</td>
<td>弟子藤原貞幸丸</td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-1-2</td>
<td>諏訪文書</td>
<td>1331040130</td>
<td>元徳3</td>
<td>弟子時幸女</td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-2</td>
<td>法隆寺諸徳文</td>
<td>1324050220</td>
<td>元徳4</td>
<td>源寺諸徳名</td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-3-1</td>
<td>諭定題文</td>
<td>1566999160</td>
<td>永禄9</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-3-2</td>
<td>諭定題文</td>
<td>1613010110</td>
<td>慶長18</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-4</td>
<td>石清水社法事和歌</td>
<td>9999999999</td>
<td>雅典</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-5</td>
<td>聖應法楽通歌</td>
<td>1617010250</td>
<td>元和3</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-6</td>
<td>動進状写</td>
<td>1345030999</td>
<td>康永4</td>
<td>動進沙門某</td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-7</td>
<td>聖金知撰助成動進状</td>
<td>1430030999</td>
<td>永享2</td>
<td>聖金</td>
</tr>
<tr>
<td>09-05-8</td>
<td>地蔵菩薩像印仏</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-01</td>
<td>葛木宗達田地売券</td>
<td>1177120250</td>
<td>治承元</td>
<td>散位葛木ほか</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-02</td>
<td>慶円家地井土屋売券</td>
<td>1246080300</td>
<td>寛元4</td>
<td>法橋上人慶円(裏花押)／嫡子僧(花押)／同女子(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-03</td>
<td>藤原清信田地譜状</td>
<td>1335030050</td>
<td>肥武2</td>
<td>清信(花押)／藤原氏女(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-04</td>
<td>是南田地販卸状</td>
<td>1365110150</td>
<td>貞治4</td>
<td>掃部助清定(花押)／対馬守入道は南(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-05</td>
<td>三良次良田地売券</td>
<td>1457120130</td>
<td>長禄元</td>
<td>売主三良次良(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×42.2</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：上里北殿之売書 上さきたとのよりうりけん</td>
<td></td>
<td>山城国葛野郡大岡庄</td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×38.5</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>作職の売渡し、なかに下作職のことあり</td>
</tr>
<tr>
<td>26.1×40.0</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>字がかれていて、下半分は殆ど読めない</td>
</tr>
<tr>
<td>26.2×26.5</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>醍醐寺関係か</td>
</tr>
<tr>
<td>29.4×44.0</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td>「はんしょうるん」は伏見毘沙院（『京都府の地名』p624参照）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.8×46.0</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：件寺嘉ノ手買券法花堂請息日方</td>
<td>大日本史料』10-5、p728</td>
<td>本誌4号口絵参照</td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×45.0</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>続目裏花押の残欠あり</td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×43.5</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：貳十院 宗□</td>
<td></td>
<td>袖下に字らしきもの有り</td>
</tr>
<tr>
<td>28.8×39.8</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：弘安七年□□□□□□□□</td>
<td>裏打紙後半部はがれている</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.3×41.8</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：熊野山造営案米請取案</td>
<td>本文に「美濃国書郡庄地領」の文字あり。東大寺文書か</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×45.3</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：[ ]公田坪付注進元徳元年</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25.8×21.9</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>面に×印。面の綿目裏に花押の右半がる</td>
</tr>
<tr>
<td>25.2×26.3</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>目録に「東大寺文書にナシ」とあり。関連史料「水木コレクション」東大寺文書3-5-160、3-5-162</td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×38.0</td>
<td>縦紙</td>
<td>売裏書：御影科足日記 法明住持中起</td>
<td></td>
<td>応永27年から同31年までのもの。一部綿目が剥離</td>
</tr>
<tr>
<td>25.0×32.0</td>
<td>縦紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>包紙：応永三十四年十二月二十三日年賀米散布状、綿目裏花押あり</td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-06</td>
<td>小太郎・性慶田地売券</td>
<td>1459060050</td>
<td>長禄3</td>
<td>小太郎(花押)/性慶(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-07</td>
<td>六郎四郎作職売券</td>
<td>1490110210</td>
<td>延徳2</td>
<td>六郎四郎(略押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-08</td>
<td>中村二郎百姓職売券</td>
<td>1498110030</td>
<td>明応7</td>
<td>中村二郎</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-09</td>
<td>高田真綱田地売券</td>
<td>1526080280</td>
<td>大永6</td>
<td>高田真綱(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-10</td>
<td>めうかくあん産地売券</td>
<td>1566020100</td>
<td>永禄9</td>
<td>はんしゃうなる殿さま大おちめうかくあん(方印)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-11</td>
<td>宗勝公芸名田地作取職売券</td>
<td>1570040240</td>
<td>永禄13</td>
<td>売主宗勝公芸(花押)/新織部佐範秀(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-06-12</td>
<td>尼信阿水田譲状</td>
<td>9999080010</td>
<td>康安2</td>
<td>尼信阿(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-01</td>
<td>僧宗俊田地直米請取状</td>
<td>1188080310</td>
<td>文治4</td>
<td>僧宗俊</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-02</td>
<td>右馬権助宗朝臣勘料錢請取状</td>
<td>1284120260</td>
<td>弘安7</td>
<td>右馬権助宗朝臣(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-03</td>
<td>熊野山造営段米請取状</td>
<td>1304121180</td>
<td>嘉元2</td>
<td>兵庫允有尚在判/左衛門尉行盛在判</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-04</td>
<td>平盛義下舎国東庄上代卿宮本田印付注進状</td>
<td>1329120100</td>
<td>元德元</td>
<td>平盛義(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-05-1</td>
<td>朝俊(カ)米請取状</td>
<td>1350080190</td>
<td>観応元</td>
<td>朝俊(カ)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-05-2</td>
<td>代用價請取状</td>
<td>1350060110</td>
<td>観応元</td>
<td>代用(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-06</td>
<td>河上御田百姓役預状</td>
<td>1445020040</td>
<td>文安2</td>
<td>今在室ハシツメムコ(略押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-07</td>
<td>天龍関山御影料足日記</td>
<td>1417040999</td>
<td>応永24</td>
<td>住持中紀(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-08</td>
<td>本利注文</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-09</td>
<td>殖松庄年貢米敷用状</td>
<td>1427120230</td>
<td>応永34</td>
<td>宗□(花押)/浄顕(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>3:28.2×40.5 4:28.2×42.3 5:</td>
<td>巻子</td>
<td>表紙：文明十七年分</td>
<td></td>
<td>山科家伝来ならん</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.6×43.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>諸岳＝能州縣至郡棚比庄内の村</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>35.4×51.4</td>
<td>巻紙</td>
<td>「七尾市史」</td>
<td>現代の包紙に鉛筆書きで「総持寺文書」とある</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.0×5.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>23.5×14.3</td>
<td>切紙</td>
<td>嫌裏書：十月までのさんようなり、きりかみハのちにきたるなり奈清二理申候</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11.5×48.3</td>
<td>切紙</td>
<td>「天正二年ノとしから」「同十一年度」の文字あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:20,0×30.9 2:20.2×28.7 3:20.2×20.4</td>
<td>複紙</td>
<td>端に「ひたちさまへ諸下」とあり 緑目裏花押あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.8</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>--------------------------------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>山科家領商人公事注文</td>
<td>1485999999</td>
<td>文明17</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>封紙</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>某書状</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>永寿院</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>某書状</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>昇給書状</td>
<td>9999120290</td>
<td>昇給</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>飯尾元進書状</td>
<td>9999030020</td>
<td></td>
<td>飯尾元進</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>承覚書状</td>
<td>9999090210</td>
<td>承覚</td>
<td>大澤長門前司殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>正久書状</td>
<td>9999999999</td>
<td>正久</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>正久書状</td>
<td>9999010240</td>
<td>正久</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>承覚書状</td>
<td>9999999999</td>
<td>承覚</td>
<td>大澤長門前司殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>来書状</td>
<td>9999030230</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>来書状</td>
<td>9999030200</td>
<td></td>
<td>大澤殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>正久書状</td>
<td>9999010050</td>
<td>正久</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>正久書状</td>
<td>9999020190</td>
<td>正久</td>
<td>大さわ殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>承覚書状</td>
<td>9999020010</td>
<td>承覚</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>某書状土代？</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>遊楽院</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>承覚書状</td>
<td>9999020070</td>
<td>承覚</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>某書状</td>
<td>9999060210</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-10</td>
<td>某書状</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>大さわとの</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-11</td>
<td>龍州諸岳年賀紙仮事料納下目録</td>
<td>1552020190</td>
<td>天文21</td>
<td>紹三／宗光</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-12</td>
<td>龍登島山氏加冠状連署安堵状</td>
<td>1552050230</td>
<td>天文21</td>
<td>紹春（花押）／続連（花押）／続用（花押）／続和（花押）／続通（花押）／宗円（花押）／続光（花押）／宗佑（袖黒印）</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-13</td>
<td>悲田院地子錢請取切符</td>
<td>1565070140</td>
<td>永禄8</td>
<td>知事（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-14</td>
<td>某紙状</td>
<td>9999110250</td>
<td></td>
<td>（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-15</td>
<td>米錢請取注文</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-07-16</td>
<td>ひたちさまへ請下注文</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-01</td>
<td>聖教断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>------------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×46.7</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×41.3</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.5×52.0</td>
<td>売紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.2×45.4</td>
<td>縦紙</td>
<td>結書:岡屋震御教書 建武三年二月七日</td>
<td>「山とのひのまきの庄」</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16.9×24.5</td>
<td>小切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16.9×42.0</td>
<td>切紙</td>
<td>結書:河原城（墨引）</td>
<td>東寺文書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24.0×39.2</td>
<td>縦紙</td>
<td>櫟本氏人用書状書状案</td>
<td>紙 salari 追面白書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.7×41.2</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.2×42.1</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>23.7×37.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.9×49.5</td>
<td>切紙</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>15.7×46.7</td>
<td>切紙</td>
<td>&quot;緒味信長文書の研究&quot;609号</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.3×46.0</td>
<td>切紙</td>
<td>結書:明応六年十一月三日元書</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13.5×45.4</td>
<td>切紙</td>
<td>結書:天正三年十二月廿七日今川家臣泰興</td>
<td>包紙あり。近代以降のものか</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13.5×34.0</td>
<td>切紙</td>
<td>結書:永禄九年 平子(?)政秀</td>
<td>包紙あり。旧目録には「赤松政秀」とあり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:13.4×20.6</td>
<td>縦紙</td>
<td>&quot;緒味信長文書の研究&quot;181号</td>
<td>年代は明月と「緒味信長文書の研究」による。包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:13.4×41.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-01</td>
<td>実有書状</td>
<td>9999100020</td>
<td>実有(花押)</td>
<td>隆円房阿闍梨御房</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-02</td>
<td>宗教断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-02-紙背</td>
<td>手習</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-03</td>
<td>西円書状</td>
<td>9999110180</td>
<td>西円</td>
<td>豊前々司殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-04</td>
<td>深円書状</td>
<td>9999100240</td>
<td>深円</td>
<td>極意御房</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-04-紙背</td>
<td>準正用注文</td>
<td>1348030999</td>
<td>貞和4</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-05</td>
<td>智通奉書</td>
<td>9999120100</td>
<td>智通</td>
<td>二階御房</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-05-紙背</td>
<td>下行物并料足注文</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-06</td>
<td>某書状</td>
<td>9999100150</td>
<td>□□(花押)</td>
<td>御報／進之候</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-07</td>
<td>某消息</td>
<td>1336020070</td>
<td>建武3</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-08</td>
<td>某消息</td>
<td>1463110280</td>
<td>寛正6</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-09</td>
<td>1566081200</td>
<td>永禄9</td>
<td>日の、一位とのへ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-10</td>
<td>上杉朝興感状</td>
<td>9999050250</td>
<td>朝興(花押)</td>
<td>長尾三河守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-11</td>
<td>澄英書状</td>
<td>9999120190</td>
<td>澄英(花押)</td>
<td>公文所法眼御房</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-12</td>
<td>某書状</td>
<td>9999120200</td>
<td>藤介(花押)</td>
<td>陽侍者</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-13</td>
<td>某書状案</td>
<td>9999999999</td>
<td>媺本氏人衆御中</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-14</td>
<td>山科言張書状</td>
<td>9999999999</td>
<td>言談</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-15-1</td>
<td>智成院消息</td>
<td>9999999999</td>
<td>智成院</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-15-2</td>
<td>智成院消息(付属紙)</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-16</td>
<td>某書状</td>
<td>9999060250</td>
<td>(花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-17</td>
<td>渡二郎貞書状</td>
<td>9999090080</td>
<td>貞(花押)</td>
<td>うん□房まいる</td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-18</td>
<td>隆尊書状</td>
<td>9999120210</td>
<td>隆尊(花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-08-19</td>
<td>某書状写</td>
<td>9999999200</td>
<td>□□(花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-1</td>
<td>足利政氏感状</td>
<td>9999100170</td>
<td>(花押)</td>
<td>長尾式部柔とのへ</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-2</td>
<td>足利義氏官造状</td>
<td>9999010170</td>
<td>(花押)</td>
<td>小山土佐守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-3</td>
<td>織田信長書状</td>
<td>9999110280</td>
<td>信長(朱印)</td>
<td>小山殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-4</td>
<td>香川元景書状</td>
<td>1497110030</td>
<td>明応6</td>
<td>元景(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-5</td>
<td>泰興奉書</td>
<td>1554120270</td>
<td>天文23</td>
<td>泰興(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-6</td>
<td>政秀感状</td>
<td>1566020290</td>
<td>永禄9</td>
<td>政秀(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-7</td>
<td>佐久間信盛書状</td>
<td>9999051060</td>
<td>永禄12</td>
<td>佐右衛盛(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>12. 6 × 29. 8</td>
<td>切紙</td>
<td>邸密書：花押足利兼将軍若狭国武田（朱筆）</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>15. 5 × 26. 5</td>
<td>小切紙</td>
<td></td>
<td>09-10は断簡15枚。右上で閉じてある</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26. 3 × 37. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28. 7 × 44. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37. 0 × 27. 3</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13. 0 × 14. 9</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>上下欠</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31. 3 × 12. 5</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26. 3 × 18. 2</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26. 1 × 10. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td>後欠</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17. 2 × 45. 7</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>22. 5 × 30. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td>端裏書：申ノ八月晦日於清浄院二月堂納所□□□□□□□□[ ]ニテ写之者也</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25. 0 × 16. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td>後欠</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29. 5 × 41. 5</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26. 5 × 31. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td>前欠。「午極月二日」</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27. 1 × 37. 0</td>
<td>堅紙</td>
<td>前欠</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25. 9 × 38. 4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>---------------------------</td>
<td>------------</td>
<td>--------</td>
<td>------------</td>
</tr>
<tr>
<td>09-09-08</td>
<td>近衛前久判物</td>
<td>9999080220</td>
<td>(花押)</td>
<td>武田憲五郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-01</td>
<td>木引久次郎材木注文</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-02</td>
<td>某支配状</td>
<td>9999100130</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-03</td>
<td>文書形</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-04</td>
<td>覚能書状</td>
<td>9999070180</td>
<td>(花押)</td>
<td>議□上人御房</td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-05</td>
<td>真言印作法</td>
<td>1241080010</td>
<td>仁治2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-06</td>
<td>宗信書状</td>
<td>99999999270</td>
<td>宗信（花押）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-07</td>
<td>覚断箋</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-08</td>
<td>某撰状案</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-09</td>
<td>良返書状</td>
<td>9999120260</td>
<td>良返（花押）</td>
<td>年僅五師御坊</td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-10</td>
<td>法語断箋</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-11</td>
<td>某田地作撰詔狀</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-12</td>
<td>包紙</td>
<td>9999999999</td>
<td>内藤左衛門大夫隆春</td>
<td>如意輪院</td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-13</td>
<td>算用状断箋</td>
<td>9999120020</td>
<td></td>
<td>西南院祿</td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-14</td>
<td>訓□書状</td>
<td>9999070120</td>
<td>訓□（花押）</td>
<td>学□□御房</td>
</tr>
<tr>
<td>09-10-15</td>
<td>聖教目録断箋</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>1:13.3×41.0</td>
<td>紙</td>
<td>絵図書：加藤清正</td>
<td></td>
<td>『下川文書』2巻、44-47丁、3月26日付清正書状は、本書状に続いて出されたものであろう</td>
</tr>
<tr>
<td>2:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:13.3×43.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9:13.3×42.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10:13.3×41.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 加藤清正書状

<table>
<thead>
<tr>
<th>文書番号</th>
<th>文書名</th>
<th>年代</th>
<th>和暦</th>
<th>差出</th>
<th>宛所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>13-1-1</td>
<td>加藤清正書状</td>
<td>9999030230</td>
<td>清正</td>
<td>加藤喜左右衛門とのへ／下川又左右衛門とのへ／中川重とのへ／中川唯玄とのへ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.8×44.5</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.2×49.8</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>「知行方目録」。石高合計の上に秀吉の朱印あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.9×46.9</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>「於越前国知行目録」</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.2×49.7</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>「火焔者知行目録」</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>46.0×65.0</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:34.9×51.0</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>腦目裏に黒印あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:34.9×22.5</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>45.6×63.0</td>
<td>折場</td>
<td></td>
<td></td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:33.6×47.2</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>腦目裏に黒印5顆あり。表の黑印と一致</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:33.6×55.2</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.9×44.0</td>
<td>豊紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>奥ラバ書に「鶴尾末納言」とあり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-1</td>
<td>某宛行状</td>
<td>1584090100</td>
<td>天正12</td>
<td>慶長12（花押）/朝夕（花押）/雲広（花押）</td>
<td>長崎弥左衛門殿</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-2</td>
<td>羽柴秀俊判物</td>
<td>1595120010</td>
<td>慶長4</td>
<td>秀俊（花押）</td>
<td>長崎弥左衛門とのへ</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-3</td>
<td>小早川秀秋判物</td>
<td>1598080050</td>
<td>慶長3</td>
<td>秀秋（花押）</td>
<td>長崎伊豆とのへ</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-4</td>
<td>小早川秀秋判物</td>
<td>1599030030</td>
<td>慶長4</td>
<td>秀秋（花押）</td>
<td>長崎伊豆とのへ</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-5</td>
<td>徳川家康朱印状</td>
<td>1604080300</td>
<td>慶長9</td>
<td>（朱印）</td>
<td>長崎伊豆守とのへ</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-6</td>
<td>栃倉勝重・大久保長安連署状</td>
<td>1604081130</td>
<td>慶長9</td>
<td>栃倉伊賀守勝重（花押）/大久保石見守長安（花押）</td>
<td>長崎伊豆守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-7</td>
<td>徳川秀忠朱印状</td>
<td>1625070270</td>
<td>寛永2</td>
<td>（朱印）</td>
<td>長崎半左衛門とのへ</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-8</td>
<td>土井利勝ほか4名連署覚</td>
<td>1633060130</td>
<td>寛永10</td>
<td>擬摩（黒印）/右衛門（黒印）/伊豆（黒印）/譚岐（黒印）/大炊（黒印）</td>
<td>郡勧定所</td>
</tr>
<tr>
<td>14-1-9</td>
<td>鴨尾中納言書状</td>
<td>9999120060</td>
<td>（花押）</td>
<td>長崎弥左衛門殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×46.0</td>
<td>壺紙</td>
<td>端裏書：将軍御自筆御図信/余日事</td>
<td>『白河市史』344号</td>
<td>年代は刊本による。裏打済。包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×48.0</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』368号</td>
<td>『白河市史』は宛所を結城顕朝とする。裏打ち痕あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.3×44.0</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』427号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.5×50.0</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』449号</td>
<td>『白河市史』は宛所を氏朝とする</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.0×45.0</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』458号</td>
<td>『白河市史』は宛所を氏朝とする。裏打の一部が残されている</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×47.5</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』460号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×46.0</td>
<td>壺紙</td>
<td>包:32.3×28.3</td>
<td>『白河市史』463号</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.7×47.0</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』462号</td>
<td>裏打ち痕あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.8×48.0</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』461号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.0×54.0</td>
<td>切紙</td>
<td>封:37.2×13.7</td>
<td>『白河市史』762号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川晴綱という。包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.0×24.0</td>
<td>小切紙</td>
<td>端裏に押紙：伊勢貞親文書（文）</td>
<td>『白河市史』556号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川直朝という。裏打されている。包紙あり。切封の痕あり。端裏押紙は上書で付けたものか</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.0×26.0</td>
<td>小切紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』622号</td>
<td>包紙あり。19-1-011参照</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×31.3</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』455号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川氏朝という。裏打されている。包紙あり。19-1-050参照</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16.3×38.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』561号</td>
<td>年代は刊本による。差出は朝日教久。宛所は白川直朝という</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.2×40.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』621号</td>
<td>19-1-008の副状</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.2×42.6</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』828号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.6×43.2</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』860号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川晴綱という</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.8×24.9</td>
<td>壺切紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』858号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川晴綱という</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×36.8</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』859号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川晴綱という</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.1×39.6</td>
<td>壺紙</td>
<td></td>
<td>『白河市史』933号</td>
<td>年代は刊本による。宛所は白川義視という</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
## 結城白川文書

<table>
<thead>
<tr>
<th>文書番号</th>
<th>文書名</th>
<th>年代</th>
<th>和暦</th>
<th>差出</th>
<th>宛所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>19-1-001</td>
<td>足利尊氏消息案</td>
<td>9999030020</td>
<td>文和2</td>
<td>(花押)</td>
<td>白川弐正少弐殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-002</td>
<td>足利義詮御書御教書</td>
<td>1367040050</td>
<td>貞治6</td>
<td>(花押)</td>
<td>結城大膳大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-003</td>
<td>足利義詮御内書</td>
<td>9999050280</td>
<td>(花押)</td>
<td></td>
<td>白河左兵衛尉殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-004-1</td>
<td>足利持氏御書御教書</td>
<td>1423090300</td>
<td>応永30</td>
<td>(花押)</td>
<td>白河弐正少弐殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-004-2</td>
<td>足利持氏御書御教書</td>
<td>1424060130</td>
<td>応永31</td>
<td>(花押)</td>
<td>白河弐正少弐殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-005-1</td>
<td>足利管領上杉氏実行状</td>
<td>1424060130</td>
<td>応永31</td>
<td>藤原(花押)</td>
<td>笠間長門守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-005-2</td>
<td>足利管領上杉氏実行状</td>
<td>1424060190</td>
<td>応永31</td>
<td>藤原(花押)</td>
<td>笠間長門守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-005-3</td>
<td>足利管領上杉氏実行状</td>
<td>1424060190</td>
<td>応永31</td>
<td>藤原(花押)</td>
<td>小田出羽守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-005-4</td>
<td>関東管領上杉氏実行状</td>
<td>1424060130</td>
<td>応永31</td>
<td>藤原(花押)</td>
<td>小田出羽守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-006</td>
<td>岩城重隆書状</td>
<td>9999020270</td>
<td>天文12</td>
<td>左京大夫重隆(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-007</td>
<td>伊勢貞親奉書</td>
<td>9999040040</td>
<td>康正3</td>
<td>伊勢貞親(花押)</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-008</td>
<td>細川勝元書状</td>
<td>9999010160</td>
<td>勝元(花押)</td>
<td></td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-009</td>
<td>那波宗元書状</td>
<td>9999020160</td>
<td>応永31</td>
<td>前上總介宗元(花押)</td>
<td>白河弐正少弐殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-010</td>
<td>朝日教久書状</td>
<td>9999080170</td>
<td>長禄2</td>
<td>近江前司教久(花押)</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-011</td>
<td>寺町通賢書状</td>
<td>9999010160</td>
<td></td>
<td>左衛門尉通賢(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-012-1</td>
<td>北条氏康書状案</td>
<td>9999030170</td>
<td>弘治2</td>
<td>氏康</td>
<td>結城殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-012-2</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999090030</td>
<td>永禄3</td>
<td>氏康(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-012-3</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999020180</td>
<td>永禄3</td>
<td>氏康(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-012-4</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999050090</td>
<td>永禄3</td>
<td>氏康(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-013</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999060240</td>
<td>天正5</td>
<td>北条左衛門大夫氏康(花押)</td>
<td>白川江</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>印本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>44.1×30.6</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』879号</td>
<td>現状では「白川江 自小町原城」が誤紙となっているが、『白河市史』は、白川江 自松山城を説紙とする。年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×44.2</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』875号</td>
<td>現状では「白川江 自小町原城」が誤紙となっているが、『白河市史』は、白川江 自松山城を説紙とする。年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×38.9</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』835号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:19.3×33.3</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』830号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.2×42.6</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』831号</td>
<td>封紙あり。年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.5×42.6</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』614号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>包:30.6×21.0</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』777号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.1×49.6</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』888号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.1×40.9</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』537号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×36.5</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』927号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.3×41.5</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』955号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×34.0</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』802号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.9×45.4</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』897号</td>
<td>奥に横ノ内折紙の破あり。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.7×45.0</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』895号</td>
<td>奥に横ノ内折紙の破あり。年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.9×20.9</td>
<td>垂紙 裏書：田村方よりしめて一筒也</td>
<td>『白河市史』882号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×44.1</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』1073号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.4×48.9</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』754号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.0×37.6</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』519号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.5×32.7</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』523号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.8×35.8</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』528号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.8×47.0</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』798号</td>
<td>封紙は破れあり。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:38.2×11.3</td>
<td>垂紙</td>
<td>『白河市史』842号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.0×39.7</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』820号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>-------------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-014-1</td>
<td>小田氏治書状</td>
<td>9999090230</td>
<td>弘治2</td>
<td>氏治（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-014-2</td>
<td>小田氏治書状</td>
<td>9999080060</td>
<td>永禄7</td>
<td>氏治（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-014-3</td>
<td>小田氏治判物</td>
<td>9999050270</td>
<td>永禄6</td>
<td>氏治（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-015-1</td>
<td>北条綱成書状</td>
<td>9999070220</td>
<td>弘治2</td>
<td>北条左衛門大夫綱成（花押）</td>
<td>白川</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-015-2</td>
<td>北条綱成書状</td>
<td>9999030200</td>
<td>弘治2</td>
<td>北条左衛門大夫綱成（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-015-3</td>
<td>北条綱成書状写</td>
<td>9999030200</td>
<td>弘治2</td>
<td>北条左衛門大夫綱成</td>
<td>結城江</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-016</td>
<td>佐竹義俊書状</td>
<td>9999110060</td>
<td>文明3</td>
<td>前伊豫守義俊（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-017</td>
<td>佐竹義篤書状</td>
<td>9999120170</td>
<td></td>
<td>源義篤（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-018</td>
<td>佐竹義重書状</td>
<td>9999020240</td>
<td>永禄12</td>
<td>源義重（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-019</td>
<td>佐竹義憲書状</td>
<td>9999110210</td>
<td>享徳元</td>
<td>石田大夫義憲（花押）</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-020</td>
<td>佐竹義康書状</td>
<td>9999120090</td>
<td>天正2</td>
<td>源義康（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-021</td>
<td>藤名盛隆書状</td>
<td>9999060090</td>
<td>盛隆</td>
<td>盛隆</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-022</td>
<td>藤名盛起書状</td>
<td>9999050090</td>
<td>天文22</td>
<td>左衛門尉盛起（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-023</td>
<td>田村清顕書状</td>
<td>9999010270</td>
<td></td>
<td>清顕（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-024</td>
<td>田村顕顕書状</td>
<td>9999060290</td>
<td>元龟2</td>
<td>月齢三休（花押）</td>
<td>靖国へ</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-025</td>
<td>田村顕顕書状</td>
<td>9999030260</td>
<td>永禄9</td>
<td>以観（花押）</td>
<td>白川七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-026</td>
<td>岩城常隆書状</td>
<td>9999080210</td>
<td>常隆（花押）</td>
<td>常隆</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-027</td>
<td>岩城重隆書状</td>
<td>9999020010</td>
<td>天文11</td>
<td>左京大夫重隆（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-028</td>
<td>岩城隆忠書状</td>
<td>9999070180</td>
<td>文安4</td>
<td>前下総守隆忠（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-029</td>
<td>岩城清隆書状</td>
<td>1449080270</td>
<td>文安6</td>
<td>岩城周防守清隆（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-030</td>
<td>好倉隆衡去状</td>
<td>1451060010</td>
<td>宝徳3</td>
<td>好倉前和泉守隆衡（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-1</td>
<td>二階堂照行書状</td>
<td>9999030260</td>
<td></td>
<td>藤原照行（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-2</td>
<td>二階堂照行書状</td>
<td>9999120190</td>
<td>弘治2</td>
<td>役正大弼照行（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追記</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td>-----</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.8×52.3</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]841号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:38.5×12.5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.5×40.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]823号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:31.1×8.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.2×41.9</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]822号</td>
<td>年代は刊本による。封紙中破</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:31.2×9.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.5×49.2</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]800号</td>
<td>封紙小破</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封37.0×12.4</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.1×47.2</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]799号</td>
<td>封紙中破</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封30.2×10.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.5×44.7</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]994号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.5×35.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]1084号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.6×42.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]863号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:41.0×12.5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.7×43.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]1085号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.2×46.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]849号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.4×28.4</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]1060号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>22.2×46.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]1057号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封35.2×11.5</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.0×49.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]865号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.9×43.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]586号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.8×72.5</td>
<td>絹紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]840号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.5×13.8</td>
<td>絹切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]877号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封:19.5×38.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.8×30.9</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]878号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.4×48.1</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]770号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封26.0×11.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.4×52.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]760号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封24.8×11.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.8×46.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]735号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>小切紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]616号</td>
<td>年代は刊本による。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:31.2×48.7</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]1022号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:31.1×40.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.7×48.3</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.1×47.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]836号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.7×45.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>[白河市史]748号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名目</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-3</td>
<td>二階堂行行書状</td>
<td>19999120140</td>
<td>弘治2年</td>
<td>弾正大卿行行（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-4</td>
<td>二階堂行行書状</td>
<td>19999010300</td>
<td>弘治2年</td>
<td>弾正大卿行行（花押）</td>
<td>白河七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-5</td>
<td>二階堂行行書状</td>
<td>19999010300</td>
<td>弘治2年</td>
<td>弾正大卿行行（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-6</td>
<td>二階堂行行書状</td>
<td>19999110270</td>
<td></td>
<td>藤原行行（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-031-7</td>
<td>二階堂行行書状</td>
<td>19999040060</td>
<td></td>
<td>藤原行行（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-032</td>
<td>相馬義胤書状</td>
<td>19999060080</td>
<td></td>
<td>義胤（花押）</td>
<td>白川南殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-033</td>
<td>佐竹義種書状</td>
<td>19999110210</td>
<td></td>
<td>義種（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-034</td>
<td>畠山政仲書状</td>
<td>19999010160</td>
<td>永禄4年</td>
<td>安房守政仲（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-035</td>
<td>畠山義繼書状</td>
<td>19999120010</td>
<td></td>
<td>上総介義繼（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-036</td>
<td>郭須資胤書状</td>
<td>19999080100</td>
<td>永禄元年</td>
<td>修理大夫資胤（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-037</td>
<td>佐久山資信書状</td>
<td>19999040130</td>
<td></td>
<td>佐久山資信（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-038</td>
<td>弾正忠藤塚書状</td>
<td>19999030280</td>
<td></td>
<td>弾正忠藤塚（花押）</td>
<td>白河御館</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-039</td>
<td>大田原詠存書状</td>
<td>19999010260</td>
<td>永禄4年</td>
<td>沙弥詠存（花押）舟田式部少輔殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-040</td>
<td>字都宮等難書状</td>
<td>19999030240</td>
<td></td>
<td>前下野守等難（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-041</td>
<td>結城政勝書状</td>
<td>19999110290</td>
<td>弘治2年</td>
<td>左衛門督政勝（花押）</td>
<td>六條裏</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-042-1</td>
<td>結城晴朝条書</td>
<td>19999040240</td>
<td>永禄7年</td>
<td>晴朝（花押）</td>
<td>那（郭須資胤）・白（結城晴綱）江</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-042-2</td>
<td>結城晴朝書状</td>
<td>19999050270</td>
<td>永禄7年</td>
<td>晴朝（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-043-1</td>
<td>伊勢貞孝書状</td>
<td>19999060110</td>
<td>天文12年</td>
<td>伊勢守貞孝（花押）</td>
<td>白川左京大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-043-2</td>
<td>伊勢貞孝書状</td>
<td>1999910026</td>
<td>天文11年</td>
<td>伊勢守貞孝（花押）</td>
<td>白川左京大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-044</td>
<td>寺町通隆書状</td>
<td>19999120070</td>
<td>大永2年</td>
<td>石見守通隆（花押）</td>
<td>白川左兵衛佐殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-045</td>
<td>沙弥長建書状</td>
<td>19999010220</td>
<td>文明4年</td>
<td>沙弥長建（花押）</td>
<td>白川修理大夫入道殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-046</td>
<td>関豊盛書状</td>
<td>19999120180</td>
<td>天正18年</td>
<td>豊盛（花押）</td>
<td>不説公檌（白川義親）</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-047</td>
<td>江戸忠通書状</td>
<td>19999060090</td>
<td></td>
<td>前田馬忠通（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-048</td>
<td>大槻慶幹書状</td>
<td>19999070250</td>
<td>弘治2年</td>
<td>慶幹（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-049</td>
<td>小山高朝書状</td>
<td>19999070280</td>
<td>天文7年</td>
<td>高朝（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>印刷</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>-------------------------------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.2×34.0</td>
<td>竪紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』454号 年代は刊本による。19-1-009参照</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>13.9×40.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』652号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.3×44.9</td>
<td>切紙</td>
<td>封:37.0×16.7</td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』854号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.0×42.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>『白河市史』1056 包紙:源義乗状 -</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.8×45.4</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>『白河市史』617号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12.3×46.3</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』868号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.0×50.2</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>『白河市史』562号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.2×38.4</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>『白河市史』825号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.2×53.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』601号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.8×40.8</td>
<td>切紙</td>
<td>封:31.9×10.0</td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』817号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.0×48.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』791号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×49.5</td>
<td>竪紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』801号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.6×49.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』819号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.3×45.8</td>
<td>切紙</td>
<td>封:32.7×？</td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』782号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.7×46.6</td>
<td>切紙</td>
<td>封:32.1×13.2</td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』788号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.2×42.0</td>
<td>切紙</td>
<td>封:31.1×10.0</td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』962号 封紙あり、年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.1×51.0</td>
<td>竪紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』573号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×41.5</td>
<td>竪紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』513号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16.9×37.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』1075号 封紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.7×32.0</td>
<td>竪紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』534号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.3×46.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』605号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.5×41.9</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』998号 封紙あり、年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.6×34.8</td>
<td>竪紙</td>
<td>領表書：白川へ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.8×9.7</td>
<td>縦切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』1080号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.6×42.1</td>
<td>竪紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』998号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.0×25.2</td>
<td>縦切紙</td>
<td></td>
<td>印刷</td>
<td>『白河市史』1080号 年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>----------------------</td>
<td>-------</td>
<td>--------</td>
<td>------------</td>
<td>--------------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-050</td>
<td>沙弥顯勝書状</td>
<td>9999040150</td>
<td>応永31年</td>
<td>沙弥顯勝（花押）</td>
<td>白川彈正少弐殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-051</td>
<td>太田資清書状</td>
<td>9999110280</td>
<td>小治3年</td>
<td>沙弥道貞（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-052</td>
<td>柳山尚国書状</td>
<td>9999030120</td>
<td>永禄2年</td>
<td>滷高国（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-053</td>
<td>佐竹義隆書状</td>
<td>9999120170</td>
<td>文明4年</td>
<td>佐竹義隆（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-054</td>
<td>源義東書状</td>
<td>9999030280</td>
<td>文明5年</td>
<td>源義東（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-055</td>
<td>結城氏広書状</td>
<td>9999030280</td>
<td>文明5年</td>
<td>藤原氏広（花押）</td>
<td>白川入道殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-056</td>
<td>周興書状</td>
<td>9999080140</td>
<td>永禄5年</td>
<td>周興（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-057</td>
<td>上杉房顯書状</td>
<td>9999080260</td>
<td>長禄2年</td>
<td>上杉房顯（花押）</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-058</td>
<td>石川晴光書状</td>
<td>9999020120</td>
<td>弘治2年</td>
<td>石川晴光（花押）</td>
<td>白川七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-059</td>
<td>相馬隆胤書状</td>
<td>9999060120</td>
<td>文明2年</td>
<td>相馬隆胤（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-060</td>
<td>宇都宮隆綱書状</td>
<td>9999060210</td>
<td>天文24年</td>
<td>下野守隆綱（花押）</td>
<td>白川殿（ウハ書による）</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-061</td>
<td>芦名盛親書状</td>
<td>9999020010</td>
<td>天文20年</td>
<td>芦名盛親（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-062</td>
<td>芦名盛親書状</td>
<td>9999050090</td>
<td>天文22年</td>
<td>芦名盛親（花押）</td>
<td>白河左近大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-063</td>
<td>岩城重隆書状</td>
<td>9999060230</td>
<td>天文24年</td>
<td>岩城重隆（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-064</td>
<td>岩城重隆書状</td>
<td>9999120040</td>
<td>天文16年</td>
<td>岩城重隆（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-065</td>
<td>岩城重隆書状</td>
<td>9999120050</td>
<td>天文19年</td>
<td>岩城重隆（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-066</td>
<td>佐竹義久書状</td>
<td>9999040130</td>
<td>永禄4年</td>
<td>佐竹義久（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-067</td>
<td>佐藤義則書状</td>
<td>9999060080</td>
<td>長禄4年</td>
<td>佐藤義則（花押）</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-068</td>
<td>岩城隆忠書状</td>
<td>9999070190</td>
<td>嘉吉2年</td>
<td>岩城隆忠（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-069</td>
<td>太孫義則書状</td>
<td>9999090150</td>
<td>文明3年</td>
<td>太孫義則（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-070</td>
<td>等因書状</td>
<td>9999090120</td>
<td>宝徳4年</td>
<td>等因（花押）</td>
<td>白河大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-071</td>
<td>片見政広書状</td>
<td>9999080190</td>
<td>文明3年</td>
<td>片見政広（花押）</td>
<td>道朝</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-072</td>
<td>義勇書状</td>
<td>9999090090</td>
<td>文明3年</td>
<td>義勇（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-073</td>
<td>義護書状</td>
<td>9999080220</td>
<td>文明3年</td>
<td>義護（花押）</td>
<td>白川七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-074</td>
<td>佐竹義久書状</td>
<td>9999060070</td>
<td>天正17年</td>
<td>佐竹義久（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-075</td>
<td>天照書状</td>
<td>9999010260</td>
<td>天照（花押）</td>
<td>白川殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>-------</td>
<td>-------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.6×35.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」839号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.8×53.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」763号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.2×40.6</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」818号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.7×42.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」786号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:20.3×47.1</td>
<td>2:13.6×12.2</td>
<td>切紙</td>
<td>「白河市史」803号</td>
<td>年代は刊本による。包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.6×50.1</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」915号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.7×52.4</td>
<td>封:13.1×15.9</td>
<td>切紙</td>
<td>「白河市史」789号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.9×49.1</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」864号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×27.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」861号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.0×53.0</td>
<td>封:42.0×13.5</td>
<td>切紙</td>
<td>「白河市史」640号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>23.2×51.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」775号</td>
<td>年代は刊本による。包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.5×28.8</td>
<td>種切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」920号</td>
<td>年代は刊本による。端裏に黒印あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.2×22.0</td>
<td>種切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」903号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.7×37.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」569号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.7×46.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」790号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.6×43.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」829号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.6×43.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」574号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.4×41.5</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」805号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16.5×37.2</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」816号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>16.2×31.6</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」639号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:16.8×33.8</td>
<td>2:16.8×33.8</td>
<td>切紙</td>
<td>「白河市史」1067号</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:34.6×27.3</td>
<td>2:34.6×27.3</td>
<td>坚紙</td>
<td>「白河市史」834号</td>
<td>年代は刊本による。包紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.2×37.5</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」525号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.0×50.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」990号</td>
<td>年代は刊本による。切封あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.0×28.0</td>
<td>坚紙</td>
<td>端裏書：田村宮内大夫より降摺かたへはしめての一箇也</td>
<td>「白河市史」845号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.6×46.4</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」554号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×37.0</td>
<td>坚紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」520号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>-------</td>
<td>-------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-073</td>
<td>好島隆家書状</td>
<td>9999100280</td>
<td>弘治2</td>
<td>沙弥源続（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-074</td>
<td>好島隆熙書状</td>
<td>9999030270</td>
<td>天文12</td>
<td>兵部太輔隆熙（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-075</td>
<td>好島隆熙書状</td>
<td>9999060220</td>
<td>天文24</td>
<td>深城守隆熙（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-076</td>
<td>好島隆家書状</td>
<td>9999110300</td>
<td>天文19</td>
<td>兵部太輔隆家（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-077</td>
<td>宗国書状</td>
<td>9999050090</td>
<td>天文22</td>
<td>内藏助宗国（花押）</td>
<td>芳賀左衛門尉殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-078</td>
<td>長沼宗秀書状</td>
<td>9999110270</td>
<td>美濃介宗秀（花押）</td>
<td>白河殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-079</td>
<td>須田照秀書状</td>
<td>9999120140</td>
<td>右京亮照秀（花押）</td>
<td>白河</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-080</td>
<td>白芦斎道書状</td>
<td>9999010160</td>
<td>永禄4</td>
<td>居士施道（花押）</td>
<td>白河御館</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-081</td>
<td>信太治房書状</td>
<td>9999090220</td>
<td>永禄3</td>
<td>信宅卿助治房（花押）</td>
<td>白川</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-082</td>
<td>相馬盛胤書状</td>
<td>9999030200</td>
<td>大膳大夫盛胤（花押）</td>
<td>白河殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-083</td>
<td>小田野義正書状</td>
<td>9999090230</td>
<td>天文14</td>
<td>大和守義正（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-084</td>
<td>上杉輝虎書状</td>
<td>9999030150</td>
<td>天文2</td>
<td>輝虎（花押）</td>
<td>白川七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-085</td>
<td>太山義在書状</td>
<td>9999020100</td>
<td>太山義在（花押）</td>
<td>白川殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-086</td>
<td>山中（？）書状</td>
<td>9999050030</td>
<td>長禄3</td>
<td>前越中守盛通（花押）</td>
<td>神目刑部左衛門尉殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-087</td>
<td>那須高資書状</td>
<td>9999010260</td>
<td></td>
<td>藤原高資（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-088</td>
<td>小山成長書状</td>
<td>999910023</td>
<td>文明13</td>
<td></td>
<td>白川入道殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-089</td>
<td>藤名盛詮書状</td>
<td>9999080150</td>
<td>長禄4</td>
<td>下総守盛詮（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-090</td>
<td>富田滋実書状</td>
<td>9999060290</td>
<td>天文22</td>
<td>左近将監滋実（花押）</td>
<td>芳賀三郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-091</td>
<td>竹貫光書状</td>
<td>9999040140</td>
<td>天文24</td>
<td>参川守光（花押）</td>
<td>芳賀擔中守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-092</td>
<td>右衛書状</td>
<td>9999030180</td>
<td></td>
<td>右衛助政春（花押）</td>
<td>白川入道殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-093</td>
<td>前遠江守勝義書状</td>
<td>9999070240</td>
<td></td>
<td>前遠江守勝義（花押）</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-094</td>
<td>太田資正書状</td>
<td>9999040120</td>
<td>弘治2</td>
<td>太田美濃守資正（花押）</td>
<td>白川</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-095</td>
<td>家持書状</td>
<td>9999030030</td>
<td></td>
<td></td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-096</td>
<td>富田知信書状</td>
<td>9999040060</td>
<td>天正16</td>
<td></td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-097</td>
<td>田村頼顕書状</td>
<td>9999030090</td>
<td></td>
<td>南月齋（花押）</td>
<td>白川七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-098</td>
<td>京極持清直行状</td>
<td>1456120270</td>
<td>康正2</td>
<td>持清（花押）</td>
<td>多賀出雲入道殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-099</td>
<td>池田持直書状</td>
<td>1447100200</td>
<td>文安4</td>
<td>刑部大輔恵隆（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・纸数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>-------</td>
<td>-------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.4×38.5</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】538号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×47.0</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】499号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×40.4</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】539号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×19.0</td>
<td>坚切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】781号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.0×46.0</td>
<td>坚纸</td>
<td>萬両書：(岩)白川宮内大輔族人々御中 堂塚内蔵頭重綱</td>
<td>【白河市史】1035号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×47.1</td>
<td>坚纸</td>
<td>萬両書：(岩)白川不說様御小姓飲中 山岡志摩守□長</td>
<td>【白河市史】1027号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.0×27.0</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】827号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×26.0</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】829号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×30.5</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】833号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.9×36.3</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】874号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.6×40.6</td>
<td>折纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】899号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×37.0</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】655号</td>
<td>「従結城之手日記」</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.2×25.7</td>
<td>坚切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】774号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.5×39.8</td>
<td>切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】1087号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>20.7×44.8</td>
<td>切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】1070号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封：26.5×12.0</td>
<td>1:20.3×41.0</td>
<td></td>
<td>【白河市史】637号</td>
<td>一紙と二紙は分離</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:20.3×10.2</td>
<td>19.3×38.7</td>
<td>切纸</td>
<td>【白河市史】707号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.0×45.5</td>
<td>切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】608号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.5×40.2</td>
<td>切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】1069号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.6×35.2</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】880号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.0×47.9</td>
<td>切纸</td>
<td>袖：廿七代之時 奥：廿七代上人カツヘ御湯治候進上申候安文</td>
<td>【白河市史】917号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.0×40.3</td>
<td>切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】1029号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.1×40.6</td>
<td>切纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】679号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.2×44.5</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】600号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.0×41.0</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】623号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.3×41.0</td>
<td>坚纸</td>
<td></td>
<td>【白河市史】549号</td>
<td>礼紙と思しき別紙あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>-------</td>
<td>-----------------</td>
<td>--------</td>
<td>-------</td>
<td>--------</td>
<td>--------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-100</td>
<td>佐竹義盛書状</td>
<td>9999110210</td>
<td>享徳元</td>
<td>右京大夫義盛(花押)</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-101</td>
<td>細川持之施行状</td>
<td>1439100100</td>
<td>永享11</td>
<td>右京大夫(花押)</td>
<td>上杉左馬助殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-102</td>
<td>藤名盛経証状</td>
<td>1453030230</td>
<td>享徳2</td>
<td>下緒守盛経(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-103</td>
<td>富塚仲納書状</td>
<td>9999060270</td>
<td>天文15</td>
<td>富塚近江守仲納(花押)</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-104</td>
<td>富塚重綱書状</td>
<td>9999060050</td>
<td></td>
<td>(花押)</td>
<td>白川宮内大輔様</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-105</td>
<td>山岡重長書状</td>
<td>9999050060</td>
<td>文禄3</td>
<td>重長(花押)</td>
<td>白川不説様</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-106-1</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999030170</td>
<td>弘治2</td>
<td>氏康(花押)</td>
<td>左衛門大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-106-2</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999030200</td>
<td>弘治2</td>
<td>北条氏康(花押)</td>
<td>結城殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-106-3</td>
<td>北条氏康書状</td>
<td>9999040040</td>
<td>弘治2</td>
<td>氏康(花押)</td>
<td>太田美濃守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-107-1</td>
<td>市名盛氏書状写</td>
<td>9999040250</td>
<td>永禄6</td>
<td>止々齋</td>
<td>河村對馬守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-107-2</td>
<td>市名盛氏書状写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>止々齋</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-108</td>
<td>結城氏条書</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-109</td>
<td>(無名之状)</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-110</td>
<td>岡本尊哲書状</td>
<td>9999090030</td>
<td>天文14</td>
<td>梅江齋尊哲(花押)</td>
<td>白河御館</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-111</td>
<td>平虎王丸書状</td>
<td>9999120250</td>
<td>平虎王丸</td>
<td></td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-112</td>
<td>他阿弥陀仏書状</td>
<td>9999080130</td>
<td>他阿弥陀仏</td>
<td></td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-113</td>
<td>阿都宮成綱書状</td>
<td>9999020110</td>
<td>藤原成綱(花押)</td>
<td></td>
<td>開川院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-114</td>
<td>景広書状</td>
<td>9999060110</td>
<td>前山村守景広(花押)</td>
<td></td>
<td>結目右京進殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-115</td>
<td>長尾景信書状</td>
<td>9999081160</td>
<td>文明3</td>
<td>左衛門尉景信(花押)</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-116</td>
<td>盛忠書状</td>
<td>9999080070</td>
<td>前出羽守盛忠(花押)</td>
<td></td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-117</td>
<td>那須資矩書状</td>
<td>9999090150</td>
<td>永禄7</td>
<td>役正左衛門尉資矩(花押)</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-118</td>
<td>結城白川晴綱書状</td>
<td>9999040300</td>
<td></td>
<td>左京大夫晴綱</td>
<td>御道行</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-119</td>
<td>岩城政隆書状</td>
<td>9999031014</td>
<td>平政隆(花押)</td>
<td></td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-120</td>
<td>相馬盛胤書状</td>
<td>9999120220</td>
<td>文明17</td>
<td>相馬胤(花押)</td>
<td>左衛門大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-121</td>
<td>相馬隆胤状</td>
<td>1470060999</td>
<td>文明2</td>
<td>隆胤(花押)</td>
<td>白川少弼殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-122</td>
<td>岩城親隆状</td>
<td>1470010020</td>
<td>文明6</td>
<td>慈隆(花押)</td>
<td>白川隆正少弼殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-123</td>
<td>字都宮等綱去状</td>
<td>1456040010</td>
<td>康正2</td>
<td>沙弥道隆(花押)</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>診筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>-----</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.5×40.2</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』423号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.3×41.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』750号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19.8×36.5</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』593号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.8×45.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』869号</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18.7×44.1</td>
<td>切紙</td>
<td>『白河市史』568号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:34.8×48.8</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』1090号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:34.9×49.2</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.7×39.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>裏書：鹿嶋神主宗信書之（黒印）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>15.5×3.3</td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.6×50.9</td>
<td>折紙</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.4×44.2</td>
<td>折紙</td>
<td>包紙あり</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.9×45.0</td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×42.2</td>
<td>折紙</td>
<td>宛所・差出を書いた紙片あり</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:14.6×39.0</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:14.6×28.9</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:14.6×13.7</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:16.6×25.5</td>
<td>切紙</td>
<td>近世以降に作られた絵城白川文書の目録</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:16.5×23.6</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:16.6×37.8</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:16.6×12.4</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:16.5×13.6</td>
<td>切紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×38.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』52号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.4×48.4</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』113号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>17.0×31.7</td>
<td>切紙</td>
<td>符号押紙：勝元文書（文科）</td>
<td>『白河市史』555号に白河修理大師の同文あり。年代はこれによる。押紙・封紙あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>封：26.3×11.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:32.6×46.0</td>
<td>経紙</td>
<td>一見了（花押）（吉良貞家）</td>
<td>『白河市史』354号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:32.6×45.0</td>
<td>経紙</td>
<td>符号押紙：石河兼光等文書（文科）</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>38.0×28.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』350号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.4×40.3</td>
<td>壟紙</td>
<td>『白河市史』356号</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------------</td>
<td>------------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-124</td>
<td>那須賀跡契状</td>
<td>1403030270</td>
<td>応永10</td>
<td>兵部少輔/朝（花押）</td>
<td>白河殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-125</td>
<td>竹貫隆光・同隆光進署誓書</td>
<td>1541060260</td>
<td>命禄辛丑</td>
<td>竹貫隆光/花押/同左衛門佐隆光/花押</td>
<td>白河御宿老中</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-126</td>
<td>蕭名盛詔起請文</td>
<td>9999110270</td>
<td>靖正6</td>
<td>前下総守盛詔/花押</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-127</td>
<td>飛鳥井雅添状</td>
<td>9999090050</td>
<td></td>
<td>飛鳥井雅添/花押</td>
<td>白川七郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-128</td>
<td>役尾之種書状</td>
<td>9999120210</td>
<td>長禄2</td>
<td>散位之種/花押</td>
<td>白川修理大夫殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-129</td>
<td>飛鳥井雅添賀家証伝授状</td>
<td>1556999260</td>
<td>弘治2</td>
<td>正二位/花押</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-130</td>
<td>須賀川城由緒覚書</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>須賀川城有謡覚</td>
<td>(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-131</td>
<td>陸奥国最勝寺鹿鳴宮鐘錶</td>
<td>1544111110</td>
<td>天文13</td>
<td></td>
<td>(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-132</td>
<td>信利尊氏等花押写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>信利尊氏等/花押</td>
<td>白川殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-133</td>
<td>古内主膳正書状</td>
<td>9999030390</td>
<td>古内主膳正□□□（花押）</td>
<td>白川宮内大輔殿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-134</td>
<td>柴田中務書状</td>
<td>9999100030</td>
<td>柴田中務宗□（花押）</td>
<td>主殿様</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-135</td>
<td>中村成義書状</td>
<td>9999030040</td>
<td>中村左衛門成義（花押）</td>
<td>主殿様</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-136-1</td>
<td>首藤知平書状</td>
<td>9999030030</td>
<td>首藤弥兵衛知平（花押）</td>
<td>山本五左衛門様</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-136-2</td>
<td>某書状写</td>
<td>9999020220</td>
<td></td>
<td>(花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-137</td>
<td>鑑定書付</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>(花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-138</td>
<td>信利尊氏下文</td>
<td>1335080999</td>
<td>建武2</td>
<td>信利輔持/花押（命禄）</td>
<td>(蒲田五郎太郎)</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-139</td>
<td>信利直義軍勢催促状</td>
<td>1338020150</td>
<td>建武5</td>
<td>信利直義/花押</td>
<td>石河五郎太郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-140</td>
<td>細川勝元書状</td>
<td>9999040040</td>
<td>康正3</td>
<td>黒元/花押</td>
<td>石川一族中</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-141-1</td>
<td>石河兼光書状</td>
<td>1353050999</td>
<td>文和2</td>
<td>石河兼光/花押</td>
<td>吉良家</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-141-2</td>
<td>沙弥某・左兵衛尉某連署通行状</td>
<td>1353040270</td>
<td>文和2</td>
<td>左兵衛尉/花押/沙弥/花押</td>
<td>都御山城権守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-141-3</td>
<td>沙弥某・左兵衛尉</td>
<td>1353080290</td>
<td>文和2</td>
<td>左兵衛尉/花押</td>
<td>関分淡路守殿</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>鎖筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.0×47.5</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」341号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.1×38.4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」360号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.8×33.3</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」364号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.2×39.4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」380号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×42.2</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」284号</td>
<td>上部破れあるも裏打済み、いささか虫損</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×42.8</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」288号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.9×36.8</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」280号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.7×42.1</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」286号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×26.7</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>虫損有り</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.7×16.7</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.6×41.8</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「室町幕府文書集成」377号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×41.5</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」187号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×41.3</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」355号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.8×45.7</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」374号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×38.4</td>
<td>堅紙 証批判：一見了（花押）（識山国性）</td>
<td></td>
<td>「白河市史」304号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×43.1</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」83号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.4×49.8</td>
<td>堅紙 証批判：承了（花押）（上杉重能）</td>
<td></td>
<td>「白河市史」118号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.6×44.6</td>
<td>堅紙 証批判：承了（花押）（上杉重能）</td>
<td></td>
<td>「白河市史」114号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×43.1</td>
<td>堅紙 証批判：承了（花押）</td>
<td></td>
<td>「白河市史」302号</td>
<td>刊本によれば証批判の主は「右近将監隆勝」</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.6×43.6</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>「白河市史」1036号</td>
<td>封紙：白川殿 従小田</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-142</td>
<td>吉良貞家施行状</td>
<td>1352120070</td>
<td>文和元</td>
<td>右京大夫（花押）</td>
<td>石河藩田左近大夫家</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-143-1</td>
<td>石河兼光謹状</td>
<td>1361030290</td>
<td>延文6</td>
<td>（石河）左近大夫兼光（花押）</td>
<td>左近蔵人義光</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-143-2</td>
<td>石川義光謹状</td>
<td>1365110080</td>
<td>賢治4</td>
<td>（石河）義光（花押）</td>
<td>かのうはう</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-143-3</td>
<td>石河兼光謹状</td>
<td>1385030100</td>
<td>至徳2</td>
<td>（石河）光広（花押）</td>
<td>養子熊丸所</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-144-1</td>
<td>石塔義元書下</td>
<td>1343120060</td>
<td>康永2</td>
<td>左馬助（花押）</td>
<td>石河藩田五郎太郎院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-144-2</td>
<td>石塔義元下知状</td>
<td>1344030060</td>
<td>康永3</td>
<td>左馬助（花押）</td>
<td>石河藩田五郎太郎院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-144-3</td>
<td>石塔義元謹状</td>
<td>1343110170</td>
<td>康永2</td>
<td>左馬助（花押）</td>
<td>石河藩田五郎太郎院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-144-4</td>
<td>石塔義元書下</td>
<td>1343120140</td>
<td>康永2</td>
<td>左馬助（花押）</td>
<td>石河藩田五郎太郎院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-144-5</td>
<td>包紙か</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-144-6</td>
<td>包紙か</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-145</td>
<td>室町幕府奉行人連署奉書</td>
<td>1452070050</td>
<td>宝徳4</td>
<td>沙弥（花押）／美濃守（飯尾貞元）（花押）</td>
<td>石川一族中</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-146</td>
<td>高師冬軍勢催促状</td>
<td>1341041020</td>
<td>曆応4</td>
<td>師河守（花押）（高師冬）</td>
<td>石河糧田五郎太郎院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-147</td>
<td>斯波詮持書下</td>
<td>1395090260</td>
<td>応永2</td>
<td>刑部大輔（花押）</td>
<td>藩田民部少輔院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-148</td>
<td>斯波家兼書下</td>
<td>1354120200</td>
<td>文和3</td>
<td>左京権大夫（花押）</td>
<td>石河藩田左近大夫家</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-149</td>
<td>斯波詮持奉行状</td>
<td>1372120170</td>
<td>応安5</td>
<td>左衛門佐（花押）</td>
<td>赤坂賀尾院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-150</td>
<td>石河兼光軍忠状</td>
<td>1347090999</td>
<td>賢和</td>
<td>石河兼田五郎太郎兼光</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-151</td>
<td>沙弥某頃状</td>
<td>1336040250</td>
<td>建武3</td>
<td>沙弥（花押）</td>
<td>藩田五郎太郎院</td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-152-1</td>
<td>石河兼光軍忠状</td>
<td>1338080999</td>
<td>建武5</td>
<td>石川五郎太郎兼光</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-152-2</td>
<td>石河兼光軍忠状</td>
<td>1338030999</td>
<td>建武5</td>
<td>石川五郎太郎兼光</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-1-153</td>
<td>石河貞秀者到状</td>
<td>1347070100</td>
<td>賢和3</td>
<td>石川兼田五郎太郎兼光子息八郎五郎貞秀</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>19-番外</td>
<td>小田氏書状</td>
<td>9999999999</td>
<td>小田</td>
<td>白川院</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

55
<table>
<thead>
<tr>
<th>法量・紙数</th>
<th>形態</th>
<th>追筆</th>
<th>刊本</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>28.6×38.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>縦裏書：和与返状写&lt;br&gt;裏書：和与返状写</td>
<td>『高野山文書』1591591&lt;br&gt;『錦倉遺文』14064号</td>
<td>付箋：少異なる。&lt;br&gt;付箋：又横六。&lt;br&gt;紀伊国神野真国庄内小河殿目間村&lt;br&gt;なお『高野山文書』16211&lt;br&gt;『錦倉遺文』14065号参照</td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>31-1-02-1〜2は一紙。高野山大塚修理</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>奥端書：院宣舛米事</td>
<td>31-1-02-1〜2は一紙。付箋：「&lt;br&gt;一八」。高野山大塚修理</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>関東御所行不定</td>
<td>31-1-02-3〜4は一紙。浄津舛米</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>院宣半分事</td>
<td>31-1-02-3〜4は一紙。浄津舛米</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>31-1-02-5〜6は一紙。付箋：浄&lt;br&gt;津舛米</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>端書：関東御所行</td>
<td>31-1-02-5〜6は一紙</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.5</td>
<td>壟紙</td>
<td>端書：院宣半分永代御寄附&lt;br&gt;事</td>
<td>付箋：目録ニナシ。浄津舛米</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.0×38.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>縦裏書：山田下野守(此正&lt;br&gt;文山田方へ出了寺家覚謝&lt;br&gt;度也)沙弥道助</td>
<td>南部庄</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×46.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>縦裏書：自持明院本初院へ&lt;br&gt;状案(應永十三正月廿二日&lt;br&gt;)使者持明院御部屋&lt;br&gt;裏書：式来候</td>
<td>南部庄</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:31.1×44.4</td>
<td>壟紙</td>
<td>8枚がこより状のもので閉じられている。付箋：二〇。應永十一年&lt;br&gt;行入方ニ関スル諸状(目録ニミヘ&lt;br&gt;ス)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:31.2×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>縦裏書：高野山学伯方</td>
<td>同様8紙のうち1〜5紙目</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:31.3×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td>縦裏書：永享年中行人下知&lt;br&gt;文書物安行人請状同訴状。&lt;br&gt;万治二年三月十二日公儀江&lt;br&gt;差出候。古証文書へ可入&lt;br&gt;端書：高野山学伯方</td>
<td>同様8紙のうち5〜6紙目</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:31.3×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>同様8紙のうち6紙目</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:31.3×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6:31.4×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7:31.4×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8:31.5×45.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------------------------------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>--------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-01</td>
<td>道賀他三名遠署和与返状案</td>
<td>1280080999</td>
<td>弘安3</td>
<td>僧道賀在判／都維那法師在判／寺主法師在判／ 上座大法師在判</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-1</td>
<td>後宇多上皇院院案</td>
<td>1307110260</td>
<td>豊治2</td>
<td>稲中納言定房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-2</td>
<td>関東請文案</td>
<td>1308050170</td>
<td>豊治3</td>
<td>順秀守平宗宣／相模守平郎時</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-3</td>
<td>後宇多上皇院院案</td>
<td>1308080230</td>
<td>豊治3</td>
<td>稲中納言定房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-4</td>
<td>伏見上皇院院案</td>
<td>1309010260</td>
<td>延慶2</td>
<td>経親</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-5</td>
<td>伏見上皇院院案</td>
<td>1309040120</td>
<td>延慶2</td>
<td>治部卿俊光</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-6</td>
<td>関東御教書案</td>
<td>1309070270</td>
<td>延慶2</td>
<td>陸奧守在 - ／相模守在 -</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-02-7</td>
<td>伏見上皇院院案</td>
<td>1311090080</td>
<td>必長元</td>
<td>為行</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-03</td>
<td>大内氏奉行入遠署奉書案</td>
<td>1392090040</td>
<td>明德3</td>
<td>沙弥判／殿後守判</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-04</td>
<td>法印行算書状案</td>
<td>1406010220</td>
<td>必永13</td>
<td>法印行算</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-05-0</td>
<td>諸家評定異付</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-05-1</td>
<td>預慶賢等禁絵案</td>
<td>1439030290</td>
<td>永享11</td>
<td>預大師慶賢判／行事入寺秀観判／年預阿闘懸範判</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-05-2</td>
<td>善親等遠署請文案</td>
<td>1439040220</td>
<td>永享11</td>
<td>西院善親判／南谷良忍判／中院道実判／谷上覚覚判</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-05-3</td>
<td>善賢等遠署請文案</td>
<td>1439040230</td>
<td>永享11</td>
<td>預中沙法人覚賢判／泉親判／宣覺判／良明判</td>
</tr>
</tbody>
</table>

57
<table>
<thead>
<tr>
<th>法量・紙数</th>
<th>形態</th>
<th>追筆</th>
<th>印刷</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>28.0×42.5</td>
<td>折紙</td>
<td>付箋「目録・見当ラス」。31-1-06-1〜2は一紙</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×42.5</td>
<td>折紙</td>
<td>付箋「目録・見当ラス」。31-1-06-1〜2は1紙</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.3×42.8 2:28.3×40.4 3:28.3×32.7</td>
<td>士紙</td>
<td>差出の下に黒印「寶」。安楽川。午歳</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.0×36.4</td>
<td>士紙</td>
<td>付箋：甲候。前欠</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.8×38.2</td>
<td>士紙</td>
<td>端裏書：長者御用挙状並六波羅御教書守護状案事</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24.0×25.2</td>
<td>士紙</td>
<td>付箋：甲候。阿弥陀寺</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.0×39.5</td>
<td>士紙</td>
<td>備考：返進神人等折紙</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.7×42.7</td>
<td>士紙</td>
<td>『武州文書』所収栃原和書「揚善寺所蔵文書に写しあり」</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.0×41.0</td>
<td>士紙</td>
<td>備考：前半が×印に消されている</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.5×43.5</td>
<td>士紙</td>
<td>備考：天野上書切成等之帳面</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.2×49.6</td>
<td>士紙</td>
<td>端裏書：慶長三年石割帳</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.6×19.3</td>
<td>士紙</td>
<td>備考：31-2-05-1と関連するか</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×42.2</td>
<td>士紙</td>
<td>備考：寂靜院法印御院御書返報皆明寺禪寺</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.3×45.1</td>
<td>士紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>-------------------------------</td>
<td>----------</td>
<td>--------------</td>
<td>-----------------------</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-05-4</td>
<td>四ヶ月院人等申状案</td>
<td>9999110090</td>
<td>四ヶ月院人等</td>
<td>年預代御房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-05-5</td>
<td>四ヶ月院人等申状案</td>
<td>9999050250</td>
<td>四ヶ月院人等</td>
<td>年預代御房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-06-1</td>
<td>俊圭他三名文書注文</td>
<td>1618060220</td>
<td>元和4</td>
<td>執行代心王院俊圭（花押）／年預阿闍梨猾知（花押）／無量寿院長海（花押）／金剛三昧院良寳（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-06-2</td>
<td>賢祐他一名覚</td>
<td>1624010270</td>
<td>元和10</td>
<td>執行代自性院賢祐（花押）／年預代興音房（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-07</td>
<td>乍恐口上書</td>
<td>9999040120</td>
<td>安楽川懸百姓中（黒印）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-08</td>
<td>沙弥仏道筆状</td>
<td>9999080290</td>
<td>沙弥仏道</td>
<td>年預御房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-09</td>
<td>擊少都覚浄申状案</td>
<td>9999090140</td>
<td>正応4？</td>
<td>擊少都覚浄</td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-10</td>
<td>某初度訴状状</td>
<td>9999999999</td>
<td>擊律師実専</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-1-11</td>
<td>神人訴状</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-01</td>
<td>北条氏邦印判状</td>
<td>1579040240</td>
<td>天正7</td>
<td>富永能登守「島邦旭福」朱印</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-02-0</td>
<td>重源铸造铁塔事</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-02-1</td>
<td>俊重房重源上人铸造铁塔図面</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-02-2</td>
<td>俊重房重源上人铸造铁塔銘写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-02-3</td>
<td>俊重房重源上人五輪塔図面</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-03</td>
<td>玄清納経用途覚</td>
<td>1648020180</td>
<td>正保5</td>
<td>懐持院内玄清（花押）</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-04</td>
<td>源次郎他一名口上覚</td>
<td>1760020110</td>
<td>宝暦10</td>
<td>庄屋源次郎（黑印）／年寄書七（黑印）</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-05-1</td>
<td>慶長三年石別帳</td>
<td>1598120999</td>
<td>慶長3</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-05-2</td>
<td>石別帳？</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-06</td>
<td>普明寺禅守書状款</td>
<td>9999080240</td>
<td>普明寺禅守書判</td>
<td>寂靜院法印御房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-07</td>
<td>能興行に就き諸種</td>
<td>9999100240</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>24.0×28.4</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>31.2-09、31.2-12と一連か。ただし連続せず。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>21.5×25.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>31.2-08、31.2-12と一連のものか。ただし連続せず。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.6×38.3</td>
<td>巻紙</td>
<td>「在刊」の下に付箋あり</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.8×34.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>全文択消。「文永十年」の字あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24.5×30.4</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>後欠。細野方。31-2-08、31-2-09と一連か。ただし連続せず。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>23.5×33.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>前欠</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:29.5×45.5 2:29.5×24.0</td>
<td>継紙</td>
<td></td>
<td>後欠。遠方村</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.8×50.0</td>
<td>巻紙 端裏書：木食書物写</td>
<td></td>
<td>付箋：四〇。「太閤様」の字あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:24.4×34.5 2:24.0×30.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td>原稿用紙に書かれたメモ。「宝節集以外ノ分」の文字あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27.5×39.8</td>
<td>巻紙 端書：新見所広文書 大須真福寺古文書（文治五年古文書五通尤以可偽考証□□□□）</td>
<td></td>
<td>貞享元、安永四年の書あり</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.6×50.8</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.3×49.7</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.7×50.4</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.4×49.7</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.2×49.7</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.7×51.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.2×50.5</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.4×51.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.0×42.8</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>全面に太政官印を塗す</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.0×27.3 2:28.2×22.6</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.5×50.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>全文択消</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.2×47.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>裏打ちがされている</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.3×44.0</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.5×39.0</td>
<td>巻紙 端書：再々少々可倹入候表</td>
<td></td>
<td>本文の後に端裏ウハ書が接いである</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25.5×43.6</td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td>折紙を切って天地をそろえ裏打す</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.4×49.6</td>
<td>折紙</td>
<td></td>
<td>折紙を切って天地をそろえ裏打す</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.8×43.2</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×47.2</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.6×34.9</td>
<td>巻紙</td>
<td></td>
<td>押紙：目録二見エス</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-08</td>
<td>石豚朝行状断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-09</td>
<td>下行状？断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-10</td>
<td>某書状土代</td>
<td>9999080110</td>
<td>在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-11</td>
<td>某甲状土代断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-12</td>
<td>米豆渡方日記</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-13</td>
<td>某書状土代</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-14</td>
<td>村高見取目録覚</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-15</td>
<td>木食應答書状案</td>
<td>9999030210</td>
<td>木食在判</td>
<td>年額御房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-16</td>
<td>封書</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-17</td>
<td>大須真福寺文書包紙</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-0</td>
<td></td>
<td>1775040201</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-1</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-2</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-3</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-4</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-5</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-6</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-7</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-2-18-8</td>
<td></td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-01</td>
<td>流行院院僧供食図</td>
<td>1435030210</td>
<td>永享7</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-02</td>
<td>頃年三年後七日御道具目録</td>
<td>1120010999</td>
<td>元永3</td>
<td>大阿闍梨権少僧都</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-03</td>
<td>某書状案</td>
<td>9999980250</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-03-01</td>
<td>縮要</td>
<td>9999980240</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-04</td>
<td>某書状</td>
<td>9999970010</td>
<td></td>
<td>(花押)</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-05</td>
<td>某院宣写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td>造東大寺大僧正の人公盈</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-06</td>
<td>鳥喜内書状</td>
<td>99999040000</td>
<td>鳥喜内</td>
<td>高源左院</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-07</td>
<td>森果書状</td>
<td>9999908130</td>
<td>森果</td>
<td>弘公磨元</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-08</td>
<td>南部利直書状</td>
<td>99999070160</td>
<td>利直(花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-09</td>
<td>家直書状</td>
<td>9999120180</td>
<td>家直</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-10</td>
<td>孫四郎売券書</td>
<td>1598030020</td>
<td>藤長3</td>
<td>うり主孫四郎／口入孫三郎</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-11</td>
<td>心善院用途覚</td>
<td>1648020210</td>
<td>正保5</td>
<td>心善院</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>28.4×49.2</td>
<td>肺紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>23.9×7.4</td>
<td>肺紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>印刷を採した紙が7枚</td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×44.0</td>
<td>肺紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-12</td>
<td>聖教断簡</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-12-紙背</td>
<td>起行書状</td>
<td>9999010030</td>
<td>起行</td>
<td>真言院御房</td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-13</td>
<td>印判</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31-3-14</td>
<td>某書状</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>28.5×40.4</td>
<td>垂纸</td>
<td>端緒，直書アラハ可速題味也</td>
<td>『大田荘史料』58号</td>
<td>32-1-1-1-1は一紙</td>
</tr>
<tr>
<td>28.5×40.4</td>
<td>垂纸</td>
<td>『平安通文』3910・3911・3946号、『荒川荘史料』参照</td>
<td>32-1-1-1-2は一紙，付箋：又接続○ - ○</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25.5×37.0</td>
<td>垂纸</td>
<td>端緒書：入道殿御教書案</td>
<td>『大田荘史料』137号</td>
<td>32-2-01-01垂変</td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.5×22.0</td>
<td>2:28.5×39.5</td>
<td>3:28.5×39.5</td>
<td>4:28.5×39.0</td>
<td>売紙は削除している</td>
</tr>
<tr>
<td>28.1×8.0</td>
<td>垂纸</td>
<td>役書：此直書アラハ西塔ノ寄附へ可入</td>
<td>『大田荘史料』43号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.1×36.5</td>
<td>3:28.1×40.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.3×21.1</td>
<td>2:28.3×15.1</td>
<td>垂書：大田荘内付録，鎧戸殿御返事／文治二年十一月廿日</td>
<td>『大田荘史料』30号</td>
<td>32-2-02-01書状参照</td>
</tr>
<tr>
<td>28.1×15.2</td>
<td>2:28.4×23.3</td>
<td>垂書：此直書アラハ大塔下知ノ内へ可入歴</td>
<td>『大田荘史料』61号</td>
<td>2紙をこよりでつなぐ</td>
</tr>
<tr>
<td>28.4×40.4</td>
<td>垂纸</td>
<td></td>
<td>『大田荘史料』63号</td>
<td>32-2-02-02は一紙</td>
</tr>
<tr>
<td>28.4×40.3</td>
<td>垂纸</td>
<td></td>
<td>『大田荘史料』17号</td>
<td>32-2-02-02は一紙。後欠。年代</td>
</tr>
<tr>
<td>28.1×32.0</td>
<td>垂纸</td>
<td>端書：直書アラハ大塔下知ノ内へ可入歴</td>
<td>『大田荘史料』87号</td>
<td>32-2-12-1に接続</td>
</tr>
<tr>
<td>32.4×52.8</td>
<td>垂纸</td>
<td>垂書：此一卷悉考也，大田庄武蔵守相模守下文案文</td>
<td>『大田荘史料』87号</td>
<td>奥に残闕あり，32-2-07-1に接続</td>
</tr>
<tr>
<td>29.5×44.2</td>
<td>垂纸</td>
<td>垂書：六波羅殿御返知案等（覚元年々三通）</td>
<td>『大田荘史料』108号</td>
<td>1紙中に3通を筆写</td>
</tr>
<tr>
<td>垂纸</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>--------------------------------------------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-1-1</td>
<td>源頼朝書状案</td>
<td>1197080190</td>
<td>建久8</td>
<td>頼朝</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-1-2</td>
<td>関東御教書案</td>
<td>1197080190</td>
<td>建久8</td>
<td>前右京連中原在判／大蔵丞在原在判／散位藤原在判</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-2</td>
<td>平清盛御教書</td>
<td>9999020090</td>
<td>治承2</td>
<td>木工允俊重</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-3-0</td>
<td>大田荘関係具書案</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-3-1</td>
<td>弾正忠能請文案</td>
<td>1378120250</td>
<td>永和4</td>
<td>弾正忠能</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-3-2</td>
<td>右少弁平仲兼書状案</td>
<td>9999060080</td>
<td>弘安9</td>
<td>右少弁仲兼</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-3-3</td>
<td>山務南院法印厳祐奉納状案</td>
<td>1344110050</td>
<td>康永3</td>
<td>山務南院法印厳祐時</td>
</tr>
<tr>
<td>32-1-3-4</td>
<td>室町幕府引付頭人高師世奉書案</td>
<td>1347080200</td>
<td>貞和3</td>
<td>左近将監師世在判</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-01</td>
<td>金剛峯寺僧徒解状案</td>
<td>1194120000</td>
<td>建久5</td>
<td>都総那法師賢行／寺主大法師実信／上座大法師実勝</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-02-1</td>
<td>源頼朝書状案</td>
<td>1186110260</td>
<td>文治2</td>
<td>頼朝</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-02-2</td>
<td>源頼朝袖判下文案</td>
<td>1186110260</td>
<td>文治2</td>
<td>在御判（袖）</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-03-1</td>
<td>源頼家御教書案</td>
<td>1199090080</td>
<td>正治元</td>
<td>兵庫頼</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-03-2</td>
<td>鏡阿書状案ほか</td>
<td>1200060200</td>
<td>正治2</td>
<td>鏡阿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-03-3</td>
<td>後宇多上皇院宣案</td>
<td>9999999999</td>
<td>元応2</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-04</td>
<td>六波羅下知状案</td>
<td>1221090220</td>
<td>承久3</td>
<td>武藏守在判／相模守在判</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-05</td>
<td>六波羅下知状案</td>
<td>1221090220</td>
<td>承久3</td>
<td>武藏守在判／相模守在判</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-06-0</td>
<td>赤尾郡関係文書</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-06-1</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1244080020</td>
<td>宽元2</td>
<td>相模守在判</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
</tr>
<tr>
<td>坂紙</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」109号</td>
<td>執筆</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>坂紙</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」111号</td>
<td>後欠。全体は刊本にあり。日付は覚元3/7/29</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.2×22.3</td>
<td>坂紙</td>
<td>端書：直書アラハ大塔ノ内へ可入賛</td>
<td>32-2-04より接続</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×45.5</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」112号</td>
<td>前欠。32-2-07-2～3は一紙</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.2×45.5</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」133号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.4×40.3</td>
<td>坂紙</td>
<td>端裏書：右少弁下造書所状案 端書：右少弁被下造書所状案</td>
<td>「大田荘史料」133号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×43.5</td>
<td>坂紙</td>
<td>年代は刊本による。3通の文書が結ばれている。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×29.7</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」134-135号に「内々状如此候」</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>29.5×47.0</td>
<td>坂紙</td>
<td>後欠</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.0×14.0</td>
<td>縦切紙</td>
<td>「大田荘史料」137号（若干の異同あり）</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>紙</td>
<td>畳紙</td>
<td>端裏書：於此正文者、自栗 崎左衛門手仙然房請取畢、 山中御地頭信違和与状案並 関東衛書案地頭返補後、 可催年貢事</td>
<td>「大田荘史料」171号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×42.0</td>
<td>紙</td>
<td>「大田荘史料」173号</td>
<td>付録：室七。端裏多也</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.2×40.0</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」178号</td>
<td>前欠。年代は刊本による。32-2-03-3から続く</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:28.0×38.0</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」177号</td>
<td>年代は刊本による</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>坂紙</td>
<td>坂紙</td>
<td>「大田荘史料」179号</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:28.3×41.4</td>
<td>紙</td>
<td>端書：依天下若書無判形之 間正文無之</td>
<td>「大田荘史料」193号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:28.3×42.5</td>
<td>紙</td>
<td>各紙が剥離し、上指導をこよりで結ぶ</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

66
<table>
<thead>
<tr>
<th>文書番号</th>
<th>文書名</th>
<th>年代</th>
<th>和暦</th>
<th>差出</th>
<th>宛所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>32-2-06-2</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1244110070</td>
<td>寛元2</td>
<td>相模守在御判</td>
<td>地頭代</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-06-3</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>9999999999</td>
<td>寛元3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-07-1</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1244110230</td>
<td>寛元2</td>
<td>相模守在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-07-2</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1244110230</td>
<td>寛元2</td>
<td>相模守在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-07-3</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1245080030</td>
<td>寛元3</td>
<td>相模守在判</td>
<td>地頭殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-08-1</td>
<td>右少弁平仲兼奏書案</td>
<td>9999060020</td>
<td>弘安3</td>
<td>右少弁在判</td>
<td>造営使殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-08-2</td>
<td>右少弁平仲兼奏書案</td>
<td>1286060020</td>
<td>弘安3</td>
<td>右少弁在判</td>
<td>造営使殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-08-3</td>
<td>内々書状</td>
<td>9999999999</td>
<td>弘安3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-08-4</td>
<td>某書状</td>
<td>9999999999</td>
<td>弘安3</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-09</td>
<td>金剛寺衆行等目安土代</td>
<td>9999999999</td>
<td>弘安3</td>
<td>右少弁在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-10</td>
<td>山中兼地頭富部信速和与状案</td>
<td>1314100130</td>
<td>正和3</td>
<td>兵庫丸信速在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-11</td>
<td>関東下知状案</td>
<td>1315110230</td>
<td>正和4</td>
<td>相模守平朝臣御判／武蔵守平朝臣御判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-12-0</td>
<td>惣覚覚寿関係文書案</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-12-1</td>
<td>後宇多上皇院宛</td>
<td>9999030100</td>
<td>元応2</td>
<td>権大納言定房</td>
<td>北山殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-12-2</td>
<td>後宇多上皇院宛</td>
<td>9999020220</td>
<td>元応2</td>
<td>権大納言定房</td>
<td>北山殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-12-3</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1320030210</td>
<td>元応2</td>
<td>前鋏前守在判／陸奥守在判</td>
<td>長加賀馬大夫</td>
</tr>
<tr>
<td>32-2-13</td>
<td>六波羅御教書案</td>
<td>1330061270</td>
<td>元徳2</td>
<td>駿河守平朝臣御判／武蔵守平朝臣御判</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

67
<table>
<thead>
<tr>
<th>法量・紙数</th>
<th>形態</th>
<th>追筆</th>
<th>刊本</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>3：28.3×9.2 4：28.3×29.0 5：28.3×16.3</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>付箋：宝簡集目録在之。南部庄</td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 26.8×39.5 | 堅紙 | 端書：教親房僧文元享三年年号陽至明四百廿六年後夏西 | 『鎌倉遺文』28487号 | 奥に「又正和五年正月廿七日六波羅下知文也通請取簇了、定守在処」とあり。付箋：目録に見当ラス。南部庄 |

| 27.1×23.2 | 堅紙 | 端裏書：河內上総入道殿天野民部少納見此正文両人方出之了。寺家雜掌越度也 沙弥道助 | | |

| 27.0×40.0 | 堅紙 | 端裏書：守護重下知状案 | 『大日本古文書』高野山文書1545号 | 付箋：又続八四（一五四五）。文書名は刊本による。荒河庄 |

| 29.0×33.5 | 堅紙 | 端裏書：唯心状 | | 付箋：又続□。荒河庄 |

| 27.0×33.2 | 堅紙 | 端裏書：賢忍房分竹院長帳案文 | | |

| 29.4×38.5 | 堅紙 | 端裏書：但市原村島居候者後日房之方流進買物者也 | 『鎌倉遺文』24216、25049、28272、29159、29160、30473、31446号参照。付箋：目録に見エス。官省ヲノ |

<p>| 68 |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th>文書番号</th>
<th>文書名</th>
<th>年代</th>
<th>和暦</th>
<th>差出</th>
<th>宛所</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>32-3-1</td>
<td>関東御書書案</td>
<td>1288060040</td>
<td>正応元</td>
<td>前武蔵守判／相模守判</td>
<td>越後守殿／越後左近大夫将監殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-3-2</td>
<td>教観坊定守倉文案</td>
<td>1323080150</td>
<td>元亨3</td>
<td>定守在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32-3-3</td>
<td>大内氏奉行入巡署奉書案</td>
<td>1392090040</td>
<td>明徳3</td>
<td>沙弥判／豊後守判</td>
<td>河内上総入道殿／天野民部少輔殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-4-1-1</td>
<td>高橋三郎入道進状</td>
<td>1291110210</td>
<td>正応4</td>
<td>沙弥在判</td>
<td>姜田唯心御房</td>
</tr>
<tr>
<td>32-4-1-2</td>
<td>唯心・浄智進署書状案</td>
<td>1291110170</td>
<td>正応4</td>
<td>唯心在判／沙弥浄智在判</td>
<td>調月平左衛門入道殿／調月新三郎殿</td>
</tr>
<tr>
<td>32-5-1</td>
<td>賢忍坊分竹院長帳案</td>
<td>1364100010</td>
<td>貞治3</td>
<td>阿闇梨縁満在判</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>進筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-------</td>
<td>-----</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.9</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>33-1-3〜1は一連の史料</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.9</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>科研費報告書『興福寺旧蔵史料の所在調査・目録作成および研究』</td>
<td>33-1-1・紙背1〜紙背3は一連の史料</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.9</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>33-1-3〜1は一連の史料</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.9</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>科研費報告書『興福寺旧蔵史料の所在調査・目録作成および研究』</td>
<td>33-1-1・紙背1〜33-1-3・紙背は一連の史料</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.9</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>33-1-3〜1は一連の史料</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>28.7×41.9</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>科研費報告書『興福寺旧蔵史料の所在調査・目録作成および研究』</td>
<td>33-1-1・紙背1〜紙背3は一連の史料</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.6×37.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26.6×37.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>科研費報告書『興福寺旧蔵史料の所在調査・目録作成および研究』</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×41.2</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>33-2-01〜11はひとつに絵じられしている。影写本。猪名庄</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×43.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本。猪名庄</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×42.1</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本。猪名庄</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.1×42.8</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>43.0×31.3</td>
<td>壟紙 端裏書: 一一一御申事友氏</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×43.0</td>
<td>壟紙 裏書: 造司御房(花押)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.6×43.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本。大井庄</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×42.3</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×42.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×42.7</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×43.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:36.5×49.0</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td>【大日本史料】6・32、【続群書類従】26上</td>
<td>応安3/6・21-7/4の宮中如意輪法の記録。影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:36.5×48.5</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3:36.5×49.2</td>
<td>壟紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-1</td>
<td>大乗院経覚日記録断簡</td>
<td>1420999999</td>
<td>応永27</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-1-1</td>
<td>大乗院経覚日記録断簡</td>
<td>1414999999</td>
<td>応永21</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-2</td>
<td>大乗院経覚日記録断簡</td>
<td>1420999999</td>
<td>応永27</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-2-1</td>
<td>大乗院経覚日記録断簡</td>
<td>1414999999</td>
<td>応永21</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-3</td>
<td>大乗院経覚日記録断簡</td>
<td>1420999999</td>
<td>応永27</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-3-1</td>
<td>大乗院経覚日記録断簡</td>
<td>1415999999</td>
<td>応永22</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-4</td>
<td>文明四年四月注断簡</td>
<td>1472999999</td>
<td>文明4</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-1-4-1</td>
<td>大乗院領出雲庄検注帳写断簡</td>
<td>1186120999</td>
<td>文治2</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-01</td>
<td>足利尊氏御状御教書案写</td>
<td>1352070210</td>
<td>御状3</td>
<td>御状（足利尊氏）</td>
<td>赤松信満次郎左衛門尉殿</td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-02</td>
<td>足利直義下知状案写</td>
<td>1339090270</td>
<td>御状3</td>
<td>源朝臣足利直義在</td>
<td>御状</td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-03</td>
<td>赤松光範進状案写</td>
<td>1352080020</td>
<td>御状3</td>
<td>左衛門尉光義在</td>
<td>河江左衛門太郎入道殿</td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-04</td>
<td>有喜状写</td>
<td>9999999170</td>
<td>聖心</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-05</td>
<td>有喜状状写</td>
<td>9999060170</td>
<td>友氏</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-06</td>
<td>有喜状状写</td>
<td>9999060180</td>
<td></td>
<td>造司御房</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-07</td>
<td>有喜状状写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-08</td>
<td>有喜状状写</td>
<td>9999120030</td>
<td></td>
<td>助得業御房</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-09</td>
<td>有喜状状写</td>
<td>9999080100</td>
<td></td>
<td>阿開梨御房</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-10</td>
<td>近期写</td>
<td>1353050190</td>
<td>文和2</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-2-11</td>
<td>有喜状状写</td>
<td>9999999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-3-01</td>
<td>応安三年如意輪法配写</td>
<td>1370999999</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>巻本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4:36.5×50.0</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5:36.5×49.8</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6:36.5×49.4</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7:36.5×49.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8:36.5×48.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9:36.5×48.9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10:36.5×49.2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1:36.8×49.5</td>
<td>堅紙</td>
<td>端裏書：大須宝生院往古諸家寄進状一十八枚</td>
<td>[錦倉文]6598号。[尾張宝生院文書]にもあり。ただし端裏書を含む</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2:36.6×49.0</td>
<td>堅紙</td>
<td>袖に三行の注記</td>
<td>[錦倉文]6724号。[尾張宝生院文書]にもあり。ただし端裏書を含む</td>
<td>袖に三行の注記あり、影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×42.3</td>
<td>堅紙</td>
<td>袖に三行の注記</td>
<td>[錦倉文]6711号。[尾張宝生院文書]にもあり。ただし端裏書を含む</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.9×24.4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]11822号。[尾張宝生院文書]にもあり。ただし端裏書を含む</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.0×43.0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]28597号。[尾張宝生院文書]にもあり。ただし端裏書を含む</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.4×43.0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]29822号。[尾張宝生院文書]</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.3×43.0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]31404号。[尾張宝生院文書]</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×43.0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]31585号。[尾張宝生院文書]</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×42.5</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]32631号。[尾張宝生院文書]</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.5×42.4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>[錦倉文]32005号</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.3×41.3</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×41.5</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-01</td>
<td>尾張俊村・同俊秀寄進状写</td>
<td>1245120180</td>
<td>宽元3</td>
<td>俊男左衛門尉尾張俊秀</td>
<td>(中嶋観音堂)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-02</td>
<td>尾張俊村・尾張俊秀寄進状写</td>
<td>1246070180</td>
<td>宽元4</td>
<td>俊男左衛門尉尾張俊秀</td>
<td>(中嶋観音堂)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-03</td>
<td>西光昌地寄進状写</td>
<td>1257050100</td>
<td>正嘉元</td>
<td>沙弥西光／ちゃくし平義行</td>
<td>(みはしの観音御前)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-04</td>
<td>淨戒・量意・尾張俊明寄進状写</td>
<td>1275020180</td>
<td>比丘尼浄戒／沙弥量意／尾張俊明</td>
<td>俊男左衛門尉尾張俊秀</td>
<td>(中嶋観音寺之阿弥陀堂)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-05</td>
<td>長岡庄領家下文写</td>
<td>1323020260</td>
<td>元亨3</td>
<td>預所代／花押(袖判)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-06</td>
<td>沙弥妙念田地譲状写</td>
<td>1327040240</td>
<td>嘉暦2</td>
<td>沙弥妙念(花押)</td>
<td>(対馬阿闍梨御房)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-07</td>
<td>比丘尼妙意田地譲状写</td>
<td>1331040500</td>
<td>元徳3</td>
<td>比丘尼妙意(花押)／道阿(花押)</td>
<td>(対馬阿闍梨御房)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-08</td>
<td>比丘尼発心田地譲状写</td>
<td>1331080270</td>
<td>元弘元</td>
<td>比丘尼発心(花押)</td>
<td>(時徒房)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-09</td>
<td>沙弥淨泉寄進状写</td>
<td>1333100180</td>
<td>元弘3</td>
<td>沙弥妙念(花押)</td>
<td>(真福寺)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-10</td>
<td>尼圓光譲状写</td>
<td>1332100280</td>
<td>正慶元</td>
<td>尼圓光(花押)／嫡子左衛門尉貞家</td>
<td>(比丘尼如定)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-11</td>
<td>藤原基盛寄進状写</td>
<td>1333020999</td>
<td>正慶2</td>
<td>藤原基盛(花押)</td>
<td>(御靈之本堂)</td>
</tr>
<tr>
<td>法量・紙数</td>
<td>形態</td>
<td>追筆</td>
<td>刊本</td>
<td>備考</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-----------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.5×50.0</td>
<td>堅紙</td>
<td>領家源少将殿 預所黒部阿闍梨在御判</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.0×42.5</td>
<td>堅紙</td>
<td>領家源少将殿預所伊勢黒部阿闍梨御房</td>
<td>影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.2×49.0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.1×49.0</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.6×41.4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30.9×41.4</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>奥に花押あり。影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>31.2×41.7</td>
<td>堅紙</td>
<td></td>
<td>影写本</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>文書番号</td>
<td>文書名</td>
<td>年代</td>
<td>和暦</td>
<td>差出</td>
<td>宛所</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-12</td>
<td>須所阿闍梨実親奉書案軍</td>
<td>1336020290</td>
<td>建武3</td>
<td>須所阿闍梨実親在勅／在勅 (袖)</td>
<td>(北野宮寺護摩堂六僧坊)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-13</td>
<td>須所僧実親寄進状案写</td>
<td>1336020290</td>
<td>建武3</td>
<td>須所僧実親在勅</td>
<td>(北野宮寺)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-14</td>
<td>藤原泰綱寄進状写</td>
<td>1337010120</td>
<td>建武4</td>
<td>藤原泰綱 (花押)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-15</td>
<td>栗田口侍従家寄進状写</td>
<td>1337030150</td>
<td>建武4</td>
<td>法眼実慶／花押 (袖)</td>
<td>(北野社井真福寺)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-16</td>
<td>大中臣貞宗寄進状写</td>
<td>1353060180</td>
<td>文和2</td>
<td>大中臣貞宗 (花押)</td>
<td>(真福寺)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-17</td>
<td>僧慶円寄進状写</td>
<td>1337060180</td>
<td>建武4</td>
<td>僧慶円 (花押)／花押 (袖)</td>
<td>(真福寺護摩堂五明王寺)</td>
</tr>
<tr>
<td>33-4-18</td>
<td>高階明高寄進状写</td>
<td>1337120270</td>
<td>建武4</td>
<td>高階明高 (花押)</td>
<td>(北野御寺)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

75